#### 研究ノート

# 産業・職業からみた階層変動と階層間人口移動

## 藤 岡 光 夫

- 1. はじめに
- 2. 階層別コーホート分析法
- 3. 産業別,職業別階層変動
  - 1) 産業別,職業別就業者の推移
  - 2) 性別・年齢別,産業・職業階層変動
- 4. 産業・職業別にみた階層間移動
- 5. 小括

### 1. はじめに

近年の日本における急激な産業構造の変化,経済のサービス化・情報化の進展は,階層構造を大きく変化させてきた。この中で,労働力の変動は,産業や職業,性別,年齢等によってかなり大きな違いがあり,性別,年齢別,階層別にみた労働力構造の変化や労働力移動の把握が求められる。また,先端産業部門をはじめとして対事業所サービス業,金融部門等の東京一極集中傾向は,労働力,とくに若年および青壮年労働力の需要における著しい地域格差をもたらしており,その結果,地方都市や農村地域からの人口・労働力の流出を加速化させている。このように労働力の階層間移動と人口の移動は密接に関連しており,人口移動を詳しく把握するためにも,その前提として階層変動,人口の階層間移動を捉えておくことが必要となる。

筆者は、最近、別稿において、人口の階層間移動を捉える方法として階層別コーホート変動分析法を提起した。そこでは、階層変動については、静態統計の加工により、性別、年齢別にみた階層毎の労働力の流出、流入の量を捉える

方法を示した。一般にコーホート分析法によれば人口・階層変動における出生要因が除去されるが、ここでは、従来から問題になっていた死亡要因の除去を行ない、社会異動による階層毎のコーホートの変動を示す方法について述べた。さらに、この階層別コーホート変動表を地域別に作成することにより、地域社会全体の階層変動を捉えるのみでなく、階層別にみた地域からの人口流出や地域への流入を捉える指標としても利用できることを示した。この階層別コーホート変動分析法は、人口静態統計により人口動態を捉える方法であるため、多様な視角からみた階層の移動を捉えることが可能であり、また地域範囲を自由に設定できるという利点もある。

さて,本稿は,実際にわが国における人口・労働力の階層間移動の実態を捉 えるために、別稿で提起した方法に基づき推計を行なったものである。その際 の階層の捉え方は、いくつかの方法があるが、ここでは、産業・職業クロス表 を用いた。その理由は、階層変動を捉える際に一般に利用されている産業別就 業者や職業別就業者の変化を捉える方法が,その内部における変動を相殺して 捉えており、重要な変化を見逃すことになっていると考えるからである。もっ ともここでは,作成された資料を提示するとともに,階層変動を捉える方法と しての本方法の有効性を確認することが主な目的であり、諸階層のすべてにわ たる詳細な分析にはすすんでいない。すでに従来の研究や分析で指摘されてい る点も多く,特徴的な変動を示す一部の階層についての簡単な観察に終わらざ るをえないという水準にとどまっている。さらに、ここでは他の諸統計や諸指 標と併せた立ち入った分析はおこなえていない。なお,関連統計としては『雇 用動向調査』(労働省)や『就業構造基本調査』(総務庁)などの資料が有用 である。とくに、前者は産業や職業のみならず事業所規模や雇用形態、居住地 などの調査項目があり、重視しなければならない。もっとも、同調査は、事業 所規模30人以上の事業所が対象であり、しかも農林漁業、建設業、公務が除外 されており、標本数も全国で13万人と限られているなどの利用上の問題点があ る。これに対して、本方法において『国勢調査』を利用して階層別コーホート 変動表を作成する場合は、各地域の全産業、全職業、全就業者の動きを捉える

ことができる。したがって、本方法とこれらの統計を併用することにより、実 態へ一層接近することができるものと考えられる。

### 2. 階層別コーホート分析法

まず、別稿で示した階層別コーホート分析法について、簡単に説明する。と こで用いる統計表は,以下の2種類である。まず後掲表1は,『国勢調査報告』 の性別、年齢5歳階級別、産業・職業別就業者数に関する1975年、85年の数値 から、これを年齢4区分に整理し、その変化を示したものである。また本論末 に掲げた表 2 は、1975年、80年、85年の同じ原表からもとめた産業・職業をク ロスした各階層のコーホート(同時出牛集団)の変化(例えば1980年の15—19 歳人口と1985年の20―24歳人口を比較する)を増減数で示したものである。そ の際、単純にコーホートの変化を計算すると、その変化にはそれぞれの階層か らの流出や階層への流入による変化に加え、死亡による減少が含まれることに なる。そこで、ここでは、『人口動態職業・産業別統計』(厚生省、1975年、 1980年,1985年) の「職業別性・年齢別死亡率」を用いて、死亡による減少を 取り除き、社会的な移動による増減、すなわち階層間移動に伴う諸階層からの 流出と諸階層への流入を示した。利用上の注意としては、1. 期間内の階層毎 の流出,流入のそれぞれについて累積数は把握しえず, その 差し引きの結果 (純流入, 純流出) が把握されるのみである点, 2. 階層間の移動方向は直接 把握することができない点、また、3. 各階層からの流出には死亡による減少 を除く労働市場からの引退などすべての流出を含んでいる点がある。したがっ て、これらを全体的に観察することによって労働力移動の方向を間接的に推察 せねばならないという限界をもっている。なお、この方法の詳しい説明につい ては、上述の別稿を参照されたい。

死亡要因を除去した階層別コーホート変動数の推計方法は以下の計算式によった。

社会移動数=
$$P_{(\iota+5,x+1)}$$
- $P_{(\iota,x)}$ +コーホート累積死亡数

コーホート累積死亡数=
$$\sum_{i=0}^{4} \left[ \left\{ P_{(t,x)} + \frac{P_{(t+5,x+1)} - P_{(t,x)}}{5} \cdot i \right\} \right]$$

$$\cdot \left\{ M_{(t,x)} + \frac{M_{(t+5,x+1)} - M_{(t,x)}}{5} \cdot i \right\}$$

ただし、基準年次 t(ここでは1975年または1980年)の x 番目の年齢階級の人口を P(t,x),比較年次 t+5(ここでは1980年または1985年)の x+1 番目の年齢階級の人口を P(t,x),最初の 1 年間のコーホートの年齢別死亡率を M(t,x),最後の 1 年間の同じコーホートの年齢別死亡率を M(t,x),最後の 1 年間の同じコーホートの年齢別死亡率を M(t,x)

なお、その際、死亡率は職業別死亡率を用い、これが各産業においても共通 するものと仮定して計算をおこなっている。

こうして作成された階層別コーホート社会変動表が表2である。この表により、性別、世代別にみた階層別コーホート社会変動数を把握することができ、 階層毎の労働力の吸引、排出の状況を知るのに役立つ。

ところで、上記の方法の中で、コーホート別の累積死亡数の推計方法に関しては、実際の計算がかなり煩雑になるという問題がある。そこで、次のような簡便法を用いることもできる。すなわち、上記の方法は1年毎のコーホート人口と死亡率から死亡数を求め、累積死亡数を計算したわけであるが、これに対して5年間の平均人口と平均死亡率を求め、それをもとに1年間の死亡数を求め、これを5倍することによって累積死亡数を求める方法がある。すなわち、

簡便法によるコーホート累積死亡数=
$$5 \cdot \frac{P_{(t,x)} + P_{(t+5,x+1)}}{2} \cdot \frac{M_{(t,x)} + M_{(t+5,x+1)}}{2}$$

となる。この簡便な方法による表と上記の方法による表2の数値とを比較すると、累積死亡数では、40歳未満でも1割前後の誤差が生じている。しかし、各コーホートの変動数においては実数の非常に小さな階層を除くと若い年齢層では、ほぼプラス、マイナス1%以下の誤差の範囲内にある。ただし、30歳代以降になると一部の階層のコーホートでプラス、マイナス2~3%の範囲の誤差がみられ、さらに死亡率の高い運輸・通信業では10%前後の誤差が生じている

コーホートがある。死亡率の高い年齢層になると一層誤差が大きくなっていくが,現段階では,さまざまな可能性についていまだ十分に検討ができていない。 ただ,比較的若い青壮年層を対象として観察する場合には,簡便法を用いても おおまかな傾向を把握することは可能であるといえよう。

なお、ここで提示した表は、簡便法を用いたものではなく、 各 年 毎 のコーホート人口と死亡率から計算したものである。

#### 3. 産業・職業別階層変動

#### 1) 産業別、職業別就業者の推移

まず、図1により、わが国における産業別就業者の構成比の推移をみてみよ

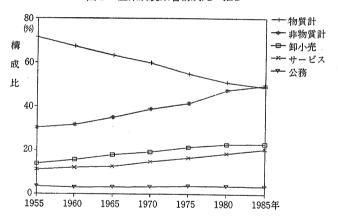
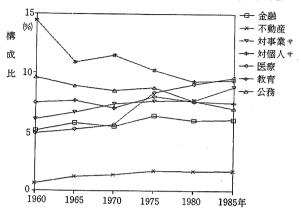


図1 産業別就業者構成比の推移

(資料)岩井浩『労働力・階級構成と雇用構造』関西大学経済政治研究所,1988年。

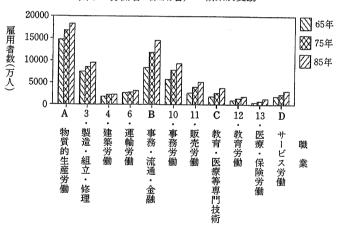
う。これによると、高度成長期には物的生産部門のウエイトが7割を超えていたが、その後次第に非物的生産部門のウエイトとの差が縮まり、1985年時点では逆転するにいたっている。非物的生産部門の中では、卸小売業部門およびサービス業部門のウエイトの増加が一貫してみられるが、1980年代に入り、サービス業は伸びつづけているものの、卸小売業では伸びの停滞が示されている。

図2 産業別就業者構成比の推移(非物的部門,除卸小売)



(資料)図1に同じ。

図3 労働者(雇用者)の職業別変動



(資料)図1に同じ。

そこで、卸小売業を除いた非物的部門の変化をより詳しくみたのが、図2である。ここでは、対個人サービス業の相対的減少の一方で対事業所サービス業の伸びが目だっている。とくに、1980年から85年にかけての増加が顕著である。また、医療産業の増大はこれをさらに上回っており、1970年代以後急速な増加を示している。

さて、つぎに、図3により労働者(雇用者)の職業別人口の変化をみてみたい。1965年、75年、85年の実数の変化をみるとA:物的生産労働者、B:事務・流通・金融労働者、C:教育・医療等専門的職業労働者、D:サービス労働者の各分野において、程度の差はあるが、それぞれ増加がみられる。物的生産労働者のうち建設・運輸労働者が停滞している他は、製造・組立・修理労働者においても増加がみられる。このような変化をみる限り、生産的労働者については、ウエイトは低下しているものの実数は増加しつづけているといえる。

ところで、このような労働力の変動は、産業・職業間において異なり、さらに男女別、年齢別において異なっているはずであるが、総数で観察する限り それらの差異が平均化されてあらわれることになる。

日本生産性本部の『経済構造調整下の労使関係』においても、一方で、最近 の景気回復による急速な雇用情勢の改善が強調されながら、他方で、今後「経 済構造調整は就業構造の転換を引き起こし、労働力需給の産業、職業、年齢、 地域等でみたミス・マッチを増大させる恐れがある」と指摘されている。やや 長くなるが、同白書の記述を引用しておこう。「すなわち、第三次産業、中で もサービス業の雇用が増大し、製造業を中心とする第二次産業での雇用は停滞 する。こうした就業構造の変化に対応して膨大な量の労働移動が 不 可 避 であ る。しかも、製造業での雇用調整の対象となる可能性が高いのは、今までの経 験によると45歳以上の男子の生産労働者である。一方,今後高い雇用吸収力が 期待されるサービス業では、若年あるいは中年女子の新規入職のウエイトが高 く、しかも専門的・技術的職業従事者あるいは事務従事者の需要が大きいと考 えられる。さらに,地域別にみても構造不況色の濃い業種を地方圏が抱えてい るのに対し、今後雇用の伸びが期待されるサービス業、中でも対事業所サービ スは大都市圏に集中している。こうした構造的な労働力需給のミス・マッチは 今後経済構造調整が進行するにつれ、近年欧米諸国でみられたような大量失業 といった形で顕在化する恐れがある。」

表1 性・年齢別。産業・職業別階層変動表

		表 1	性・年齢別,	産業・職業別隊	皆層変動表
1985年 実数 産業	男 総 数	専門 技術	事務 従事	鉱工 通運	販売サービス
年齢総数					
総数	35,679,165	3,631,351	4,384,352	14,991,961	6,886,861
鉱工運通	16,735,602	993,705	1,654,168	12,090,811	898,170
商業金融サービス	14,411,331	2,534,748	1,940,304	2,768,711	5,977,348
15—24歳 総 数	3,740,712	337,167	406,199	1,928,762	833,735
鉱工運通	1,760,160	93,662	138,375	1,450,883	70,680
商業金融サービス	1,704,782	238,598	209,974	470,751	762,306
25—44	17,617,793	2,114,909	9 420 167	7 505 040	2 960 742
総数			2,430,167	7,585,848	3,869,743
鉱工運通	8,625,320	668,507	894,375	6,179,741	568,528
商業金融サービス 45—64	7,463,374	1,386,119	1,075,053	1,350,347	3,296,148
45—64 総 数	12,303,582	1,028,503	1,426,855	5,055,725	1,813,958
鉱工運通	5,903,173	220,687	588,904	4,179,686	245,316
商業金融サービス	4,416,881	772,538	591,869	816,231	1,563,990
65— 総数	2,017,078	150,772	121,131	421,626	369,425
鉱工運通	446,949	10,849	32,514	280,501	13,646
商業金融サービス	826,294	137,493	63,408	131,382	354,904
1975—85年 増減数	男 総 数	専門 技術	事務従事	鉱工通運	販売サービス
年齢総数			***************************************		
総数	2,299,465	1,231,406	32,722	612,256	1,225,871
鉱工運通	483,892	477,435	-235,682	68,496	268,650
商業金融サービス	2,587,921	769,078	206,344	556,091	958,668
15—24歳 総 数	-601,138	137,482	-148,336	-432,803	275
鉱工運通	-458,730	43,802	-56,400	-438,237	-6,495
商業金融サービス	73,737	98,548	-48,726	9,491	7,216
25-44	,	00,010	10,.20	0,102	,,
総 数	-163,502	724,369	-125,823	-604,437	553,108
鉱工運通	-741,950	301,887	-223,605	-777,094	117,973
商業金融サービス	1,002,829	428,504	50,893	185,582	435,918
45—64 総 数	2,862,432	338,988	308,130	1,628,005	623,218
鉱工運通	1,680,183	128,842	55,519	1,288,756	154,261
商業金融サービス	1,368,526	214,033	203,004	328,321	468,695
65— 総数	201,673	30,567	-1,249	21,491	49,270
一	4,389	2,904	-1,249 $-11,196$	-4,929	2,911
	142,829	27,993			46,839
商業金融サービス	144,049	41,993	1,173	32,697	40,009

(資料) 『国勢調査報告』

(1975~85年,全国)

(単位:人)

(1010 00-7)	工戶/			十世・ハハ
女総数	専門 技術	事務従事	鉱工 通運	販売サービス
		-		
22,678,067	2,548,911	5,954,151	5,726,827	5,763,290
6,445,488	70,255	1,798,359	4,331,413	157,141
13,296,157	2,450,455	3,778,889	1,328,250	5,590,948
3,520,772	610,347	1,640,380	506,639	730,932
959,809	25,702	479,099	428,563	25,790
2,479,975	581,901	1,113,383	76,607	704,704
10,131,032	1,389,784	2,958,732	2,652,546	2,520,148
3,064,836	34,961	882,849	2,062,113	62,442
6,274,022	1,338,762	1,868,522	574,233	2,452,174
7,918,361	501,616	1,290,190	2,354,920	2,167,917
2,275,256	9,202	419,631	1,731,894	62,051
4,008,416	483,838	755,137	591,424	2,097,503
1,107,902	47,164	64,849	212,722	344,293
145,587	390	16,780	108,843	6,858
533,744	45,954	41,847	85,986	336,567
女 総 数	専門 技術	事務従事	鉱工 通運	販売サービス
	·			
3,042,347	924,691	1,465,266	1,092,347	592,965
957,003	31,765	297,584	636,053	-44,664
3,138,197	885,095	1,083,279	466,050	643,833
-233,083	137,307	-69,100	-201,806	-16,133
-213,571	11,622	-39,251	-186,357	50
89,975	125,921	-7,767	-13,523	-15,906
1,307,767	626,014	870,747	367,101	172,723
354,911	15,756	149,244	195,518	-11,463
1,648,402	603,622	672,387	173,593	186,084
1,636,791	144,321	624,375	840,665	353,132
765,246	4,132	177,436	591,694	-31,104
1,213,851	139,108	392,892	261,279	387,358
330,872	17 040	39,244	86,387	83,243
000,012	17,049	00,444	00,001	00,270
50,417	255	10,155	35,198	-2,147

ここで指摘されている点はきわめて重要な問題であるが、労働力構造の変化や雇用需給のミス・マッチの問題は今後の問題として懸念されるだけではない。1970年代後半以後の産業構造の大規模な変動、ME化による急激な技術革新、減量経営、輸出拡大による不況脱出と生産拠点の海外移転等の状況の中で大量の労働力の排出、吸引が進んできていることを忘れてはならない。

さて、このような労働力移動や労働力の構造変化を捉える際には、産業別、職業別就業者数の量的変化だけではなく、性別、年齢、従業上の地位や雇用形態、さらに事業所規模等その内部の労働力構造の質的変化を捉える必要がある。詳細な観察のためには、上記のような指標が求められるが、ここでは性別・年齢別、産業・職業クロス表により、労働力の内部構造の変化の一端を捉えてみたいと思う。ただし、原資料の制約から、期間は1975年から1985年までを対象としており、最近数年間の変化は捉えられていない。

#### 2) 性・年齢別,産業・職業階層変動

表1の,性・年齢別,産業・職業階層変動表によると,1975年から85年にかけて,鉱工運通産業部門の鉱工運通職業(生産的労働)従事者は,男子全体で7万人の増加がある。しかし,15-24歳,25-44歳層では,それぞれ44万人,78万人の減少となっている。その一方で,この階層の男子45-64歳層では,130万人もの増加がみられる。さらに女子総数では,64万人の増加があり,とくに女子25-44歳層,および45-64歳層では,20万人,60万人もの増加が示されている。このように,同じ階層の内部で,一方で男子の若年,青壮年層の減少と,他方で男子中高齢層,および女子青壮年,中高齢層の増加という,きわめて大きな逆方向の変動があることに注目しなければならない。この背景には,労働力人口全体の中高齢化による影響にくわえて,次のような事情があろう。すなわち,別稿で述べたように,オイル・ショック以後の不況や構造不況業種におけるスクラップ・アンド・ビルドが進行し,「減量経営」のもとで青壮年労働力および中高齢労働力の大量排出が進む一方で,人件費の極端な節約やME化の進展に伴う労働の単純化により女子パート労働の大量吸引がすすんできた

という事情, さらに供給側では実質賃金の停滞や低下の中で, 女性の家計補助 労働の必要性が増大してきたことなどが考えられる。

これらの動きと対照的に、情報化との関連で、専門技術職従事者の増大がいわれているが、これに関する変化をつぎにみてみよう。専門技術職従事者は、男子総数で123万人、女子総数で92万人とかなり大きな増加を示している。産業別にみると、男女とも商業・金融・サービス業部門が多い。しかし、男子では、この部門とともに鉱工運通部門での増加も顕著であり、それぞれ77万人、48万人の増加となっている。年齢別では、男子25—44歳層での商業・金融・サービス業部門で43万人、鉱工運通部門で30万人の増加が特徴的である。女子もこの年齢層の増加が圧倒的に大きく商業・金融・サービス業部門では男子を超える60万人もの増加となっている。また、本表では直接捉えられないが、ソフト関連産業や派遣企業で働くサービス業分野でのこの階層の増加も大きく、これが商業・金融・サービス業部門の専門技術職従事者の増大に大きく寄与しているものと考えられる。

さて、サービス化に伴う変化との関連では、商業・金融・サービス業部門における就業者の増加傾向がいわれるが、これについてみると、総数で、男子260万人の増加があり、女子ではこれを上回る310万人もの増加があることは注目される。さらに、この女子の増加を年齢別にみると、25—44歳層および45—64歳層で、それぞれ160万人、120万人の増加が示されている。これを、職業階層と組み合わせてみると、女子25—44歳層では、専門技術職、事務職の増加が多く、それぞれ60万人、67万人の増加となっている。ところが、女子45—64歳層では、事務職と販売・サービス職、および鉱工運通職業従事者の増加が大きく、それぞれ40万人、39万人、26万人の増加が示されている。このうち事務職以外は、単純労働が大半を占め、しかもその多くが臨時・パートなどの不安定な雇用形態にあるものと考えられる。すなわち、女子労働力は中高年になると、単純労働分野のウエイトが高まる傾向が示されているといえよう。また、男子でも25—44歳層、および45—64歳層の2つの年齢層の増加が大きい。しかし、前者においては専門技術職の増加と販売・サービス職従事者の増加がほぼ

同程度で大きなウエイトを占めるものの、後者では、販売・サービス職および 鉱工運通職業従事者の増加がそれぞれ47万人、33万人ときわめて多い。このよ うに男子においても中高齢者を中心にこの産業分野の肉体労働や単純作業の分 野に大きな増加がみられていることが特徴的である。サービス業就業者の増加 を、先端産業や金融部門と関連する対事業所サービス業の増加として一面的に 捉えるのは誤りであり、一方でこのような女子労働者や男子中高年労働者の単 純労働、不安定就業の増大があることも見据えておかねばならない。

ところで、本表では労働力移動を観察することは できないので、 次に 階層 別コーホート変動表により、人口・労働力の階層間移動を 捉えて みたいと思う。

## 4. 産業・職業別にみた階層間移動

表 2 は、階層別コーホート変動表であり、これによって労働力の階層間移動を把握することができる。ここでは、階層間の変動をより詳しくみるために、産業、職業を原表に従いそれぞれ大分類のまま表示してある。実数の少ない階層も含めて、推計されたすべての数値を表示しているため、それらについては、誤差を考慮しなければならない。また、1975年の産業・職業クロス表が、20%抽出集計であるため、この点の誤差にも注意する必要があろう。したがって、全体的に桁数の小さな部分の数値については、誤差が含まれていると考えねばならず、詳細な観察には限界がある。

まず、男子生産的労働者層に関連する移動についてみたい。図4は、技能工、生産工程作業者及び単純作業者の産業全体でみた階層別人口ピラミッドである(表1の原表より作成)。ここには、1975年度と1985年度の2つが示されており、両年度の間の性別、年齢別構成の変化をみることもできる。これによれば、1975年から85年の間に男子20歳代の若年労働力の大きな減少が特徴的にみられる。その一方で男子の中高年労働力の増加が対照的にみられる。しかし、図5の製造業においては、男子労働力の減少は、30歳代前半にまで及んでいる。他方、顕著な増加がみられるのは同様に男子の40歳代後半、50歳代

製冶業

図4 階層別人口ピラミッド

技能工 生産工程作業者及び単純作業者

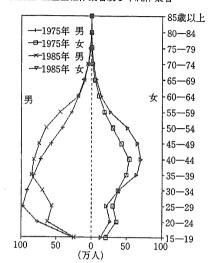


図 5 階層別人口ピラミッド 全産業

技能工 生産工程作業者及び単純作業者

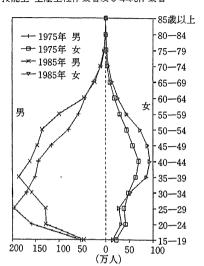
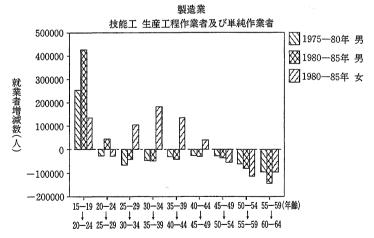
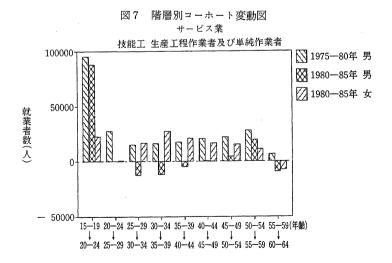


図6 階層別コーホート変動図

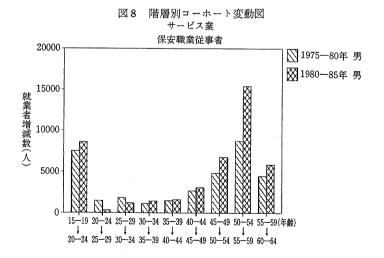


と高い年齢層である。このように生産的労働、単純労働分野においては、かつ てその中心部分を占めた男子若年及び青壮年労働力の大きな減少がみられる一 方、男子労働力の中高齢化が進行していることが明確に把握しうる。さて、こ の変動を表2により詳しく観察してみよう。図6は、表2にもとづき1975年か ら80年及び1980年から85年にかけての男子、および1980年から85年にかけての 女子就業者について、死亡を除去したコーホートの変化をあらわしたグラフで ある(以下同じ)。これによると、製造業の技能工、生産工程作業者及び単純作 業者においては、まず、1975年-80年及び1980年-85年の両期間とも男子労働 力は20歳代後半以後の全ての世代において労働力の流出(排出)が進んでいる ことがわかる。男子青壮年労働力および中高年労働力の大量流出がみられるわ けである。なお、人口ピラミッドの変化からは、この階層の男子50歳代の大量 の労働力の流出は把握できなかったが、グラフからはその流出(排出)が明瞭 によみとれる。1980年-85年の期間においてその傾向が一層著しい。1980年代 に入り, ME「合理化」等の影響による労働力の大量排出がすすんできたこと によるものと 考 え ら れる。わが国の年金制度の状況から考えると、これらの 流出した労働力がそのまま労働市場から引退するとは考え難く.高齢者の再就 職が困難な状況下でより労働条件の劣る部門へ流入せざるをえないものと考え られる。



さて、図7によれば、男子の、技能工、生産工程作業者及び単純作業者は、サービス業においてその流入が顕著である。1975年―80年の期間は、男子の50歳代にいたるまで各年齢層において相当規模の流入がみられた。しかし、1980年―85年の期間になると、40歳代前半以下の年齢層では流入がなくなり、50歳代前半から後半にかけての流入が顕著となった。この産業分野では派遣労働者も多く、その労働条件、雇用条件は決して恵まれておらず、一方でこの年齢層の失業者が増大している中で、その多くが低賃金や不安定な雇用形態のもとにおかれているものと推察される。また、図8によれば、サービス業の保安職における男子50歳代前半から後半にかけてのコーホートの増加もきわだっており、警備員などの分野に高年齢の労働力が流入していることがわかる。このように製造業から排出されてこれらの分野に流入し、高齢期を前にして生活の困難や老後の不安をかかえる階層のおかれた状況が懸念されるところである。しかも、今後「経済構造調整が進行するにつれ」、製造業における大規模な雇用調整がつづいていくと考えられており、「製造業の産業構造調整」の影響は地方圏でとくに大きいという問題もふまえておかねばならない。

女子についてこの階層の変動をみてみたい。上で示した人口ピラミッドから、



製造業の技能工、生産工程作業者及び単純作業者においては、男子労働力の流出と対照的に女子労働力の増加が著しく、その流入は30歳代後半、40歳代、50歳代に及んでいる。前述の図6によりコーホートの変化を詳しくみると、1985年時点の30歳代前半、後半、40歳代前半においてとくに顕著な流入(吸引)がみられ、その規模は合わせると男子15—19歳層の学卒新規流入に匹敵する規模である。このような変化は、この階層の性別、年齢構造を大きく変化させ、かつてその中心部分を占めた男子若年及び青壮年労働力に代わって、女子の生産的労働分野の就業者のウエイトを圧倒的に高めることになっている。また、女子の単純労働分野への大量流入は、製造業だけでなく、卸小売業およびサービス業において各年齢層で観察される。わが国の女子労働力率はオイル・ショックを契機に上昇に転じており、また女子パート労働力が米国などと比べ非常に大きいことが指摘されている。このような女子パート労働力が「企業の補助的労働力としてのみならず、基幹的労働力として正規労働力にかわって資本によって積極的に

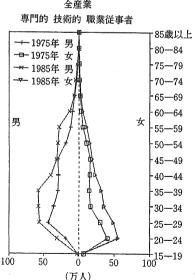


図 9 階層別人口ピラミッド 全産業

図10 階層別人口ピラミッド 製造業

専門的 技術的 職業従事者

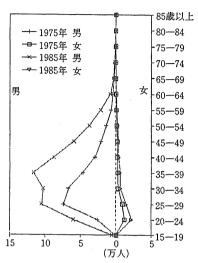
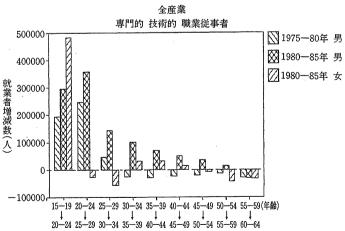


図11 階層別コーホート変動図



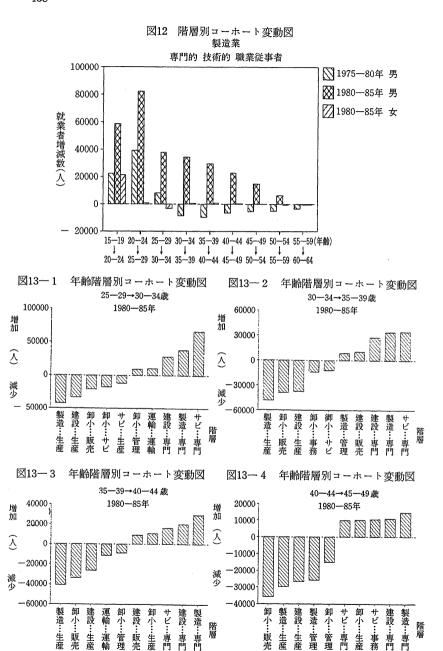


図14 階層別人口ピラミッド サービス業 専門的 技術的 職業従事者

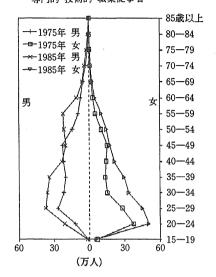
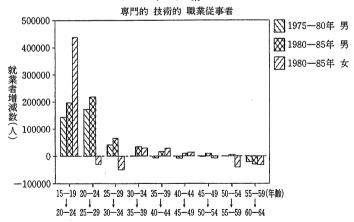


図15 階層別コーホート変動図 サービス業



導入されてきた」という点に注目しておかねばならない。

つぎに,専門的・技術的職業従事者についてみてみよう。図9によれば,この

階層は産業全体でみると、男子の20歳代から40歳代前半にかけてと50歳代後半の増加がみとめられる。これを、図10により、ME化の進展と関連が深いと考えられる製造業についてみてみると、男子20歳代から50歳代にかけての顕著な増加が特徴的である。図11によりコーホートの変化をみると、専門技術職従事者全体では、1980年代に入り男子20歳代、30歳代(1985年時点)においてそれぞれこの階層への大量の流入がみられる。とくに20歳代後半への流入はきわめて大規模である。これを製造業についてみると、この階層の男子の変化は20歳代前半、後半への吸引だけでなく、30歳代、40歳代と各年齢層において大量の流入がみられる(図12)。ここでは階層間移動の方向は把握しえないが、図13-1~図13-4により、各世代における労働力の流出と流入の状況を総合的に対比してみると、熟練労働者の一定部分が、ME化への対応の中でこの階層に流入してきているものと推察される。

図14, 図15をみると, サービス業の専門技術職では, 男子の1980年―85年において20歳代前半,後半への大きな流入が示されている。表 2 からは, 専門技術職の詳しい内容は示されていないが, その中には, 情報関連の職種も多く,派遣業などの占める割合も高い。 近年このような分野への 大量の吸引が みられ, 「ソフトウェア労働市場では 売り手 市場の 様相を示している」が, 労働時間や不規則労働の問題, 不安定な雇用形態の問題点などが指摘されている。「ソフトウェア労働者の不足が『ソフトウェア危機』を引き起こすとまで言われる一方で, ソフトウェア労働者の急速な摩耗が現実に進行している」ことを忘れてはならない。

女子の専門技術職については、図 14 によれば、サービス業において、20歳代、30歳代の増加がとくに著しい。図15によりコーホートの変化をみると、20歳代前半への吸引がきわだって大きいが、20歳代後半の流出が他の階層に比べ少ない。これは、この年齢層における流入もまた大きく、それが相殺されて少ない流出となってあらわれるていのであろう。また30歳代においても流入がみられる。しかし、男子と同様派遣労働の問題を抱えるとともに、医療産業の看護婦など専門技術職とはいえかなり労働条件の厳しい分野もあり、この変化を一

図16 階層別人口ピラミッド 卸売小売業飲食店業

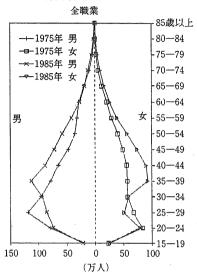


図17 階層別人口ピラミッド サービス業

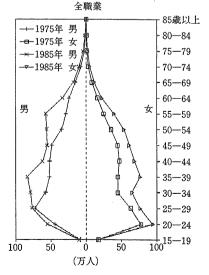
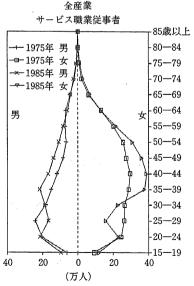


図18 階層刈人口ピラミッド



面的に肯定的に捉えることはできない。

最後に、商業・金融・サービス業分野についてみてみよう。この分野では男女とも、非常に大きな増加がみられる。図16、図17は、卸売小売業とサービス業の人口ピラミッドである。前者では男子の場合、30歳代から50歳代前半にか

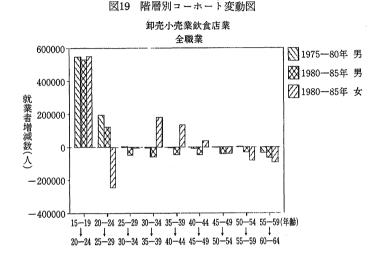


図20 階層別コーホート変動図サービス業

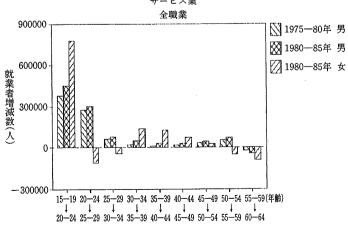


図21 階層別コーホート変動図

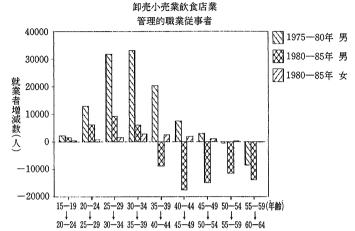
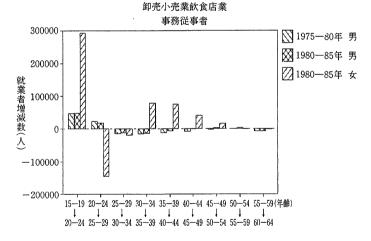
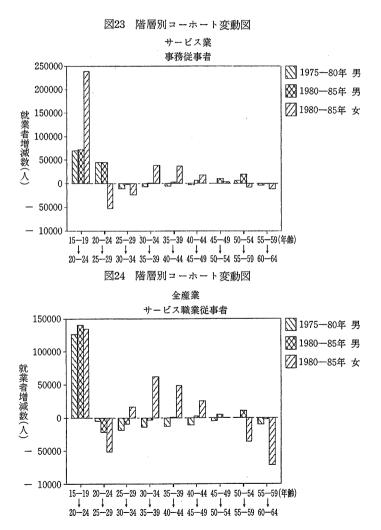


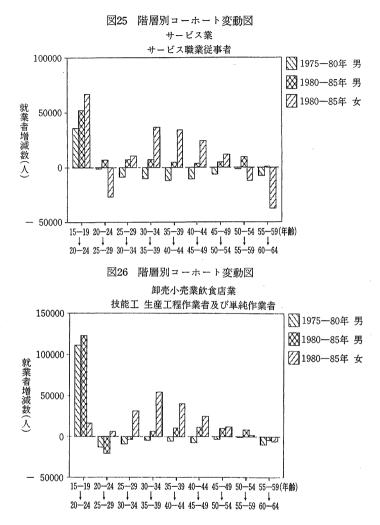
図22 階層別コーホート変動図



けての各年齢層での増加が大きく,女子では30歳代と40歳代の増加が大きい。後者では,男子の場合30歳代と50歳代の増加が大きく,女子では20歳代から50歳代にかけての各年齢層での増加が特徴的である。また,図18のサービス職従事者では,圧倒的に女子30歳代後半から40歳代にかけてのウェイトが高くなってきて

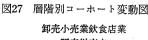
いる。しかし、これらの変化をコーホートの変動で捉えてみると、図19の卸売小売業では、男子の流入は1975年-80年、1980年-85年の両期間とも15-19歳から20-24歳にかけての時期に集中しており、80年代に入ると30歳代以後の世代では流出がみられる。女子では、1980年-85年の期間に逆に30歳代前半から後半、30歳後半から40歳代前半にかけてそれぞれ大きな流入が示されている。ま

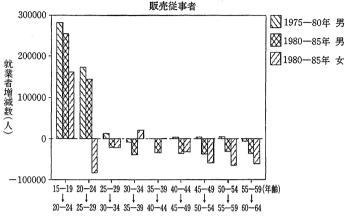




た、図20のサービス業においては、男子では両期間とも20歳代前半、後半に流入が集中して、それ以降の世代における流入はわずかである。女子では20歳代前半と30歳代、40歳代前半への流入が大きい。

卸小売業内部の職業でみると,男子においては,1975年-80年の期間に30歳代における管理職の増加が目だっていたが(図21),80年代に入ると,この増加は





わずかとなり、30歳代後半から40歳代前半にかけての年齢層以降は減少に転じ ている。なお,女子労働力に関しては,卸売小売業とサービス業分野における事 務従事者の流入が著しいが,図22,図23にみられるようにその年齢は15-19歳か ら20-24歳への移行の新規就業の時期を除けば、30歳代と40歳代前半に集中し ている。また、女子において増加が大きいサービス職従事者についてコーホー トの変化をみると,図24,図25に示されるようにやはり30歳代と40歳代前半にお いて流入が集中している。さらに,図26によれば,卸小売業分野の技能工,生産工 程作業者及び単純作業者においてもこの年齢層の増加が大きいが、女子20歳代 後半から30歳代前半にかけても流入がみられる。また,図27の卸売小売業の販 売従事者については、男女20歳代前半および男子20歳代後半への流入が圧倒的 であり、女子30歳代後半(1985年時点)においてわずかな流入がみられるのみ である。POSの導入などにより、これらの分野にも情報化の波が押し寄せて おり、商品知識のない低賃金の若年労働力で十分対応でき、雇用形態もアルバ イト,パート労働が圧倒的な部分を占めている。また、図には示していない が、女子30歳代において金融業の販売職従事者の流入が顕著であることも表2 から把握しうる。商業・サービス業分野の就業者の増加が前述のように対事業 所サービス分野の増大だけでなく、他方で女子中年パート労働や若年のアルバイト労働など不安定な雇用形態での販売・サービス職就業者や単純労働者の増大でもあることをみのがすことができない。

しかも、対事業所サービス業は、先端部門が集中する東京圏を中心とする大 都市圏に集中しており、地方においては、商業・サービス業分野の就業者の増 大が、男子青壮年労働力の雇用吸引には直接結びつき難いという問題があるこ ともふまえておく必要がある。

### 5. 小 括

以上,性別,年齢別,産業・職業クロス表を用いた階層変動の観察や人口・ 労働力の階層間異動を捉えるための階層別コーホート変動表を用いて,産業や 職業別就業者の変化だけからは把握できない諸階層内部の変動を観察した。

これらの方法により、性別、年齢別、産業・職業階層別にそれぞれ特徴的な 変動を示していることが明らかとなり、その内部の変化を平均化した把握方法 では捉えられない重要な変化を捉えることができた。

その観察結果を要約しておこう。まず,技能工,生産工程作業者及び単純作業者の変動について全体では実数が増加し,その構成比を次第に低下させているものの量的には依然就業者の中で大きなな部分を占めている。ところが,その内部の変化をみると,製造業の技能工,生産工程作業者及び単純作業者において,かつてその中心部分を占めていた男子若年及び青壮年労働力が大量に流出し,代わって女子中高齢労働力が大量に流入し,「基幹的労働力」としてきわめて大きな部分を占めるにいたっている。さらに,男子中高年労働力の流出も無視できない。この流出は,オイルショック以後の不況やME化等の影響によるものと考えられる。しかし,そのような労働力の大量流出の一方で,技能工,生産工程作業者及び単純作業者はサービス業分野において流入がみられる。この分野では派遣労働の問題もあり,その劣悪な雇用・労働条件が懸念されるところである。

また、製造業やサービス業の専門技術的職業の分野においては、大量の男子

労働力が流入している。その階層では若年労働力の流入による部分が非常に大きいが、青壮年層でも一定の流入がみられ、製造業の技能工、生産工程作業者及び単純作業者などから流出した男子青壮年労働力の一定部分が、これらの階層に流入していったものと推察される。専門技術職については、サービス業において、女子の若年労働力の流入がきわめて大きい。また、減少と相殺された形ではあるが、20歳代後半への流入も大きいと考えられる。しかし、この分野では、派遣労働の問題をはじめ、労働力の急速な摩耗が問題となっており、量的な増加を一面的に評価することはできない。

商業・サービス業分野に関しては、30歳代、40歳代のサービス業、およびサービス職の女子労働力の流入、増加が顕著であり、また卸売小売業の販売分野では、男女若年労働力の流入がきわめて大きいことがわかった。この産業の単純労働分野にも30歳代、40歳代の女子労働力流入が顕著にみられた。さらに、金融業の販売従事者においても女子のこれらの年齢層における流入がみられた。なお、女子労働力に関しては、商業・サービス業分野での30歳代、40歳代の事務従事者の流入、増加も特徴的である。しかし、全体的にみると量的には肉体労働、単純労働が大きなウェイトを占めており、中年ペート女子労働力を中心に、これらの分野に短期間にきわめて大量の女子就業者が吸引されていることが把握しえた。ペート労働とはいえ、その就業時間は長く、家事労働をかかえた女子就業者のおかれた厳しい状況が推察される。

さて、ここでの観察は、1985年時点までのものであり、最近数年間の雇用情勢の好転した変化を捉えていない。しかしながら、産業構造の変化、製造業におけるME化の進展や事業再編、生産拠点の海外移転、事務分野におけるOA化の進展、さらに商業分野においても近年一層の拡大がみられる情報化の波、これらの情勢をふまえたサービス業の展開などの諸条件を考慮するとこのような傾向が根本的に変化するとは考え難い。とはいえ、これらの分析、考察は、本稿でおこなうことはできない。ここでは、他の諸統計を用いた詳細な観察や理論的考察を十分おこなっておらず、それらの問題を考察するための基礎資料を提供するという役割を果たしたにすぎない。

表 2 階層別コーホート変動表 (1975~80年, 1980~85年, 全国)

							1		
1975—80年	男子総数	管理的職 業従事者	物的労働 就業者計	農林漁業作業者	採鉱採石作業者	運輸通信 従事者	技能工・生産 工程作業者及 び単純作業者		
15—19—	15—19—>20—24歳								
総物 ・ 選業 ・ 選業 ・ 選集 ・ 、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	1,978,349 857,021 51,548 40,879 1,967 8,702 805,473 3,268 239,375 360,707 23,065 179,059 1,118,886 995,148 549,591 58,784 8,043 378,730 123,738	7,097 3,556 74 41 6 27 3,482 20 1,275 1,854 13 3,21 3,536 3,478 2,182 207 149 940 57	913,968 677,302 49,683 39,797 1,396 8,490 627,619 2,765 209,497 264,949 14,393 135,970 236,558 231,634 125,025 424 7105,338 4,924	51,454 48,927 47,703 38,584 1,066 8,053 1,224 7 830 297 2,512 2,398 341 13 12,043 114	1,985 1,681 20 1 1,678 1,664 566 42 2 5 302 296 4 1 0 0 291 6	136,39 114,607 75 309 113,309 113,855 812 10,899 10,299 18,91,677 21,777 20,911 13,288 84 7,444 855	7 512,087 1 1,224 9 904 9 191 6 129 8 25 82 82 1 197,210 2 1197,210 2 44,200 2 211,97 2 208,023 1 11,388 4 326 4 742 7 55,557		
20-24-	>25—29	-							
総物 ・ 大学 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大	865, 304 300, 166 -3, 262 -3, 831 -746 -177 303, 428 1,726 132, 826 72, 089 9, 108 87, 679 564, 580 10, 048 275, 396 26, 233	1,762 20,829 20,581 12,861 1,695 706 5,319	$\begin{array}{c} 166,119\\ 136,617\\ -4,510\\ -4,901\\ 717\\ -327\\ 141,127\\ 1,163\\ 99,810\\ -26,140\\ 5,543\\ 60,751\\ 29,303\\ 22,517\\ -14,325\\ 447\\ 770\\ 35,625\\ 6,786 \end{array}$	-3,716 -5,183 -5,627 -5,557 -439 -509 -444 13 103 244 -3 87 1,442 1,348 285 12 -18 1,068	779 547 0 -4 2 2 547 358 127 43 -2 20 231 230 0 227 1	61,695 55,777 155 -77 84 133 55,627 266 2,199 10 -5,899 4,900 -1,733 66 -106 6,681	7 85,476 966 9730 1922 6 45 7 84,509 5 97,384 5 97,384 1 27,336 1 16,035 1 16,035 1 16,035 1 21,736 1 370 894 2 7,649		
25—29—	>30-34								
総物 整物 を を を を を を を を を を を を を	72,955 1,373 -16,587 -15,664 381 -1,304 17,961 -584 67,411 -74,567 2,061 71,167 76,307 5,042 1,427 6,147 63,691 -5,139	97,557 46,120 366 220 58 88 45,753 84 16,101 24,953 51,417 50,712 31,673 4,448 1,598 12,993 705	$\begin{array}{c} -4,978 \\ -15,836 \\ -15,676 \\ -15,414 \\ 785 \\ -1,047 \\ -160 \\ -645 \\ 52,013 \\ -72,603 \\ 2,855 \\ 18,220 \\ 10,553 \\ 4,996 \\ -15,194 \\ 496 \\ 168 \\ 19,526 \\ 5,557 \end{array}$	-14,374 -15,585 -16,191 -15,880 -564 -874 -874 -874 -1124 -1,169 -1,087 -447 -21 -28 -646 -83		1,92: 4,86: -27: -18: -5,14: -80: -2,73: -6,40: -2,93: -3,39: -6,63: 3,46: 40:	3		

1975—80年	非物的労働就業者計	事務従事者	販売従事者	専門的・技 術的職業従 事者	サービス職業従事者	保安職業従 事者
1519	>20-24				'	
総物 整物 整体 整体 整体 整体 整体 整体 整体 整体 整体 整体	1,054,485 176,167 2,140 1,304 570 266 174,027 490 28,480 93,535 8,650 42,871 878,194 759,622 422,187 58,140 7,046 272,250 118,572	287,725 88,013 990 349 465 176 87,023 291 10,715 35,235 6,649 34,133 199,674 154,486 46,634 35,887 2,205 69,760 45,188	369, 265 46, 435 472 362 21 89 45, 963 4, 736 35, 046 5, 543 35, 046 22, 798 22, 798 221, 1, 003 4, 162 16, 136 0	192,976 38,269 648 539 77 31 37,622 1533 12,042 22,288 1,325 1,813 154,676 150,220 5,663 1,153 323 143,801 4,457	126,281 1,791 19 46 4 -31 1,773 3 108 752 -91 124,473 124,433 88,199 66 319 35,752 137	78,239 1,659 12 8 3 1,647 3,72 213 8,00 1,279 76,573 7,783 195 30 37 7,520 68,790
20-24-	>25—29					
総物 数生林農林漁工鉱建製電運的薬師金派 等進入 等性, 等 等 等 等 等 等 等 等 等 等 等 等 等 等 等 等 等 等	657,904 144,492 1,569 1,385 3 180 142,924 501 26,176 87,396 3,510 25,341 513,231 494,182 196,681 54,884 8,560 234,058 19,048	155,021 40,020 279 303 -67 43 39,742 197 5,552 17,233 1,463 15,297 114,926 82,990 22,130 14,615 1,576 44,669 31,936	279, 998 47, 055 433 321 38 7,4 46,622 43 7,981 30,674 7,177 7232,893 232,893 172,852 37,031 6,514 16,496 0	245,369 56,480 816 738 31 47 55,664 263 12,636 39,125 1,582 2,058 188,854 182,310 6,110 3,223 3,223 3,223 6,544	19 160	$\begin{array}{c} -17,514\\ 447\\ 84\\ 0\\ 4\\ 439\\ -3\\ -2\\ 69\\ 44\\ 330\\ -17,964\\ 1,461\\ -12\\ -5\\ -9\\ 1,487\\ -19,426\\ \end{array}$
25—29>	30—34					
総物 数生林農林漁工鉱建製電車的業間金不少務 的農 鉱建製電車的業間金不少務 物商 金漁業業業運業設造が輸生金売融動一 物商 公 物商 公 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	$\begin{array}{c} -21,292 \\ -29,017 \\ -561 \\ 103 \\ -448 \\ -216 \\ -28,455 \\ 25 \\ -948 \\ -27,586 \\ -926 \\ 996 \\ 990 \\ 7,474 \\ 19,089 \\ -12,274 \\ -3,601 \\ 4,360 \\ 30,605 \\ -11,615 \\ \end{array}$	$\begin{array}{c} -76,867 \\ -38,462 \\ -38,462 \\ -471 \\ -471 \\ -67 \\ -303 \\ -236 \\ -37,991 \\ -165 \\ -5,164 \\ -28,552 \\ -746 \\ -3,365 \\ -38,484 \\ -38,807 \\ -15,130 \\ -11,361 \\ -11,361 \\ -11,367 \\ -10,379 \\ -10,379 \\ -10,379 \end{array}$	37,238 5,061 97 92 22 23 13 4,964 80 5,427 -7,186 6,282 32,100 32,110 32,110 6,297 6,085 -10	46,639 4,776 -218 -48 -166 -4,994 110 -1,323 8,185 -551 -1,427 41,811 42,440 703 -88 41,679 -629	$\begin{array}{c} -18,556 \\ -213 \\ 26 \\ 21 \\ -4 \\ 8 \\ -239 \\ 39 \\ 96 \\ -14 \\ -18,376 \\ -18,412 \\ -10,032 \\ 98 \\ -8,647 \\ 36 \\ \end{array}$	$\begin{array}{c} -9,746 \\ -178 \\ 5 \\ 0 \\ 3 \\ 2 \\ -184 \\ -4 \\ 18 \\ -129 \\ 24 \\ -9,576 \\ 1,759 \\ -23 \\ -6 \\ -80 \\ 1,867 \\ -11,335 \\ \end{array}$

1975—80年	男子総数	管理的職 業従事者	物的労働 就業者計	農林漁業作 業 者	採鉱採石 作 業 者	運輸通信 従事者	技能工・生産 工程作業者及 び単純作業者
30-34-	>35—39						
総物 整性林農林漁工鉱建製電運的業師金工。 整性林農林漁工鉱建製電運的業師強工。 整件機工。 整件機工。 整件機工。 整件機工。 整件機工。 整件。 整件。 整件。 整件。 整件。 整件。 整件。 整件	-24,015 -41,909 -18,899 -17,005 -17,905 -17,715 -23,010 -1,550 37,746 -66,568 1,755 5,616 16,730 20,188 -5,923 2,058 4,289 19,764 -3,458	64,010 384 156 145 83 63,626 189 18,056 38,282 498 6,621 57,465 55,391 33,063 8,407 1,363 12,558	-36,915 $-18,078$ $-16,606$ $160$	-17,393 -18,484 -18,944 -17,104 -133 -1,707 -459 20 191 170 -2 80 1,059 978 285 12 -3 683 82	-403 -601 12 5 3 -613 -594 21 3 40 203 207 6 5 5 2		$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$
35-39-3	>40—44						
総物 整体 整体 整体 整体 整体 整体 整体 整体 整体 整体	$\begin{array}{c} -26,549 \\ -41,828 \\ -32,262 \\ -29,972 \\ -284 \\ -2,006 \\ -9,567 \\ -2,584 \\ -45,632 \\ 1,008 \\ 3,125 \\ 14,090 \\ 14,214 \\ -3,367 \\ 2,509 \\ 4,544 \\ 10,528 \\ -124 \end{array}$	156 59,539 137 12,886 37,960	349 650	$\begin{array}{c} -29,131\\ -30,952\\ -31,608\\ -29,700\\ -187\\ -1,720\\ 656\\ 24\\ 371\\ 70\\ 0\\ 1,770\\ 1,667\\ 395\\ 12\\ 7\\ 1,253\\ 102\\ \end{array}$	-1,686 -1,916 -1,920 -1,466 -594 -88 5 48 239 249 81 1 -5 -172 -10	-19,68; -14,53; -17,-55; -11,-444; -956; -2,622; -5,425; -1,-5,43; -5,17; -4,566; -4,17; -66; -122; -203; -611	8,407 7752 8 388 8 7,655 106 7 31,006 6 -30,484 1,794 3 5,234 16,935 113,256 0 -5,515 3922 7770
4044>	>45—49						
総物 整物 を を を を を を を を を を を を を	-57,660 -70,618 -40,195 -42,486 -338 -3,370 -24,424 -3,444 -27,683 -45,602 -3,587 11,801 12,050 -8,645 1,421 3,513 15,761 -249	67,693 34,440 214 36 248 -70 34,226 -125 7,984 16,610 1,951 17,807 33,230 23,016 7,426 5,519 146 9,926 10,214	413	-42,359 -44,513 -45,289 -41,816 -522 -2,950 47 375 134 -11 21,922 369 21 10 1,522 136	-3,443 -3,646 14 0 8 6 -3,660 -2,664 -921 -113 -42 201 206 49 1 -5 161 -5	-22,643 -17,372 -45 -197 -88 -17,322 -688 -1,995 -4,391 -4,391 -4,393 -4,393 -4,396 -144 -172 -995 -995	7,771 1,582 7,749 895 6,—62 8,6189 6,26,864 -26,038 1,442 17,772 17,772 14,175 0,—7,332 3,377 5,811

1975—80年	非物的労働 就業者計	事務従事者	販売従事者	專門的•技 術的職業従 事者	サービス職 業従事者	保安職業従 事者			
30-34->35-39									
総物 ・ 大学 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大	$\begin{array}{c} -123,979 \\ -69,200 \\ -390 \\ -79 \\ -459 \\ -99 \\ -68,811 \\ -99 \\ -9,582 \\ -52,432 \\ -1,848 \\ -4,850 \\ -54,928 \\ -45,198 \\ -29,398 \\ -6,976 \\ 2,772 \\ -11,596 \\ -9,730 \\ \end{array}$	-78,330 -43,833 -337 -10 -243 -104 -43,497 -106 -5,661 -31,619 -202 -5,909 -34,549 -32,019 -15,307 -8,567 -1,398 -6,747 -2,530	$\begin{array}{c} -3,455 \\ -4,845 \\ 180 \\ 84 \\ 4 \\ 92 \\ -5,024 \\ -2 \\ 3,328 \\ -12,501 \\ 314 \\ 3,837 \\ 1,339 \\ 1,339 \\ 1,339 \\ -8,217 \\ 1,688 \\ 4,525 \\ 3,343 \\ 0 \end{array}$	$\begin{array}{c} -24,805 \\ -20,623 \\ -276 \\ -45 \\ -230 \\ -1 \\ -20,348 \\ -2 \\ -7,289 \\ -8,634 \\ -1,982 \\ -2,441 \\ -4,209 \\ -1,493 \\ -1,795 \\ -163 \\ -423 \\ -2,715 \\ \end{array}$	$\begin{array}{c} -14,392 \\ -6 \\ 31 \\ 28 \\ 4 \\ -1 \\ -37 \\ 2 \\ 48 \\ 230 \\ -38 \\ -280 \\ -14,406 \\ -14,303 \\ -4,232 \\ 46 \\ 91 \\ -10,207 \\ -104 \end{array}$	$\begin{array}{c} -2,998\\ 107\\ 12\\ 1\\ 6\\ 5\\ 95\\ 9\\ -9\\ 92\\ 60\\ -57\\ -3,103\\ 1,278\\ 154\\ 19\\ -22\\ 1,126\\ -4,381\\ \end{array}$			
35—39—	>4044								
総物 整体 整体 整体 整体 整体 整体 整体 整体 整体 整体	$\begin{array}{c} -112,861\\ -63,043\\ -269\\ -269\\ -269\\ -526\\ -12\\ -62,774\\ -299\\ -6,939\\ -48,953\\ -2,159\\ -4,423\\ -49,958\\ -41,375\\ -15,173\\ -8,795\\ 3,049\\ -20,457\\ -8,583\\ \end{array}$	-75,486 -42,225 -471 -41,754 -147,754 -308 -4,234 -30,411 -1,099 -5,703 -33,297 -28,887 -12,423 -10,232 -981 -5,252 -4,410	5,412 -2,665 466 354 47 65 -3,130 8,3003 -8,783 266 2,375 8,013 8,023 298 1,156 4,117 2,451 -10	$\begin{array}{c} -28,882 \\ -18,407 \\ -327 \\ -95 \\ -245 \\ 13 \\ -18,080 \\ 14 \\ -5,781 \\ -9,791 \\ -1,316 \\ -1,206 \\ -10,491 \\ -9,041 \\ -1,639 \\ -251 \\ -7,310 \\ -1,450 \\ \end{array}$	$\begin{array}{c} -12,942\\ 2499\\ 52\\ 6\\ -7\\ 52\\ 197\\ -1\\ 46\\ 6\\ 143\\ -32\\ 41\\ -13,214\\ -12,959\\ -1,959\\ -1,83\\ 177\\ -11,828\\ -255\\ \end{array}$	-963 4 11 2 5 4 -7 -13 26 -111 22 70 -969 1,489 -19 41 -13 1,481 -2,458			
40—44—	>45-49								
総物 整備業業。 一定漁業業。 一定漁業業。 一定漁業業。 一定漁業業。 一定漁業業。 一定漁業業。 一定漁業、 一定漁業、 一定漁業、 一定漁業、 一定漁業、 一定漁業、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一	-86,080 -48,204 -254 463 -669 -48 -47,950 -222 -5,541 -33,682 -2,814 -5,691 -37,985 -24,307 -6,393 -4,554 2,917 -16,277 -13,678	$\begin{array}{c} -65,811 \\ -36,446 \\ -696 \\ -55 \\ -544 \\ -177 \\ -35,751 \\ -263 \\ -3,425 \\ -23,592 \\ -6,877 \\ -29,391 \\ -18,845 \\ -8,364 \\ -6,6888 \\ -1,051 \\ -2,742 \\ -10,546 \end{array}$	13,219 1,923 749 485 135 128 1,174 2,369 -3,661 20 2,220 11,242 11,247 3,753 1,823 3,682 1,989 -5	$\begin{array}{c} -23,491 \\ -13,874 \\ -354 \\ -68 \\ -280 \\ -5 \\ -13,520 \\ 29 \\ -4,636 \\ -6,383 \\ -1,436 \\ -1,095 \\ -9,634 \\ -8,577 \\ -991 \\ -189 \\ -7,577 \\ -1,057 \\ \end{array}$	$\begin{array}{c} -11,029\\ 86\\ 23\\ 20\\ 1\\ 2\\ 62\\ 3\\ 53\\ 3\\ 131\\ -18\\ -10,896\\ -816\\ -10,896\\ -816\\ -10,638\\ -226\\ \end{array}$	$\begin{array}{c} 1,032\\ 108\\ 23\\ 0\\ 0\\ 19\\ 4\\ 4\\ 84\\ -17\\ 98\\ -178\\ 99\\ 13\\ 168\\ 920\\ 2,764\\ 25\\ 24\\ 25\\ 2,690\\ -1,844\\ \end{array}$			

1975—80年	男子総数	管理的職 業従事者	物的労働就業者計	農林漁業 作 業 者	採鉱採石作業者	運輸通信 従事者	技能工・生産 工程作業者及 び単純作業者
45-49-	>50-54						
総物 整体 整体 整体 整体 整体 整体 整体 影性 大學 等之 主体 影性 大學 主体 影性 大學 主体 影性 大學 主体 影性 大學 大學 大學 大學 大學 大學 大學 大學 大學 大學	-67,753 -84,006 -45,439 -40,671 -1,189 -3,579 -38,567 -4,001 -22,675 -45,712 -271 -11,258 -1,956 -1,858 -1,946 -1,	47,987 22,047 -245 100 -1114 -232 22,292 -227 5,428 4,235 2,726 10,130 25,922 12,531 2,988 -768 782 9,528 13,391	-42,451 -66,063 -41,932 -38,905 -72,308 -24,131 -3,154 20,158 -29,650 603 -12,088 23,457 21,003 -4,455 473 647 24,339 2,454	-40,263 -42,811 -43,476 -39,835 -609 -3,032 665 54 369 90 -3 155 2,479 2,355 434 7 1,889 124	-3,789 -3,961 28 8 12 7 -3,989 -3,146 -841 -30 -2 29 175 175 52 0 -5128	$egin{array}{c} -1,18' \\ -2,86' \\ -13,10' \\ -2,86' \\ -1,96' \\ -1,99' \\ -7' \\ -99' \\ 20' \end{array}$	3 1,619 3 834 6 804 1 -3,186 1 399 7 21,817 3 -26,846 6 38 8 33 1 23,664 7 -2,944 7 543 7 26 8 22,114
5054	>55-59						
総物的農林漁工鉱建製電運的業別 整体株農林漁工鉱建製電運的業別金不サ務 動性林農林漁工鉱建製電運的業別金不サ務 一個工鉱建製電運的業別金不サ務 一個工鉱建製電運的業別金不サ務 一個工鉱建製電運的業別。 一個工鉱建製電運的業別。 一個工鉱建製電運的業別。 一個工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工	-164,583 -192,488 -16,713 -11,388 -1,919 -3,406 -175,775 -10,605 23,811 -96,881 -12,391 -79,710 27,294 60,539 3,193 -3,567 8,565 52,348 -33,246	-326 3,512 -9,109 -3,147 -7,123 -1,571 3,835 -563 -3,403	29,593	-10,671 -12,662 -13,228 -9,560 -1,058 -2,611 566 29 353 117 3 63 1,917 1,884 275 9 8 1,591	-7,389 -6,764 -520 -122 1 16 38 37 15 0	-32 $-2,08$ $-9$ $-23,38$ $-1,61$ $-84$ $-49$ $-38$	3
55—59—	>60-64						
総物と 対生林農林漁工鉱建製電運的業卸金不中務 動性大農本業運業設造が輸生金売融動一 が農 動は大農本・ が農 動は大農・ が関 が関 が関 が関 が関 が関 が関 が関 が の の の の の の の の の の の の の	-334,821 -242,418 -12,035 -4,540 -3,925 -3,570 -230,383 -3,461 -27,218 -142,861 -6,639 -50,299 -6,458 2,539 -22,985 -22,984	-25,686 -334 -1,691 -16,536 -784 -6,332 -22,983 -14,255 -8,590 -2,241 -455 -2,970	-2,435 -2,927 -151,807 -2,585 -22,330 -97,242 -2,543 -27,108 -5,968 -4,013 -10,307 -188 3772 6,110	313 4 230 81 -3 1 1 868 869 286 1	7 2 1 -2,450 -1,940 -447 -70 1 6 2 2 8 8 8 0	$\begin{array}{c} -17,12\\ -18\\ -82\\ -2,11\\ -13\\ -13,87\\ -3,01\\ -2,09\\ -98\\ -15\\ -2\\ -93\\ \end{array}$	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$

1975—80年	非物的労働 就業者計	事務従事者	販売従事者	專門的•技 術的職業従 事者	サービス職 業従事者	保安職業従 事者				
4549	45-49->50-54									
総物 整体 整体 整体 整体 整体 整体 整体 整体 整体 整体	$\begin{array}{c} -76,832 \\ -41,722 \\ -620 \\ 433 \\ -1,057 \\ 4 \\ -41,101 \\ -424 \\ -4.178 \\ -22,711 \\ -3,708 \\ -10,080 \\ -35,209 \\ 4,714 \\ 283 \\ \end{array}$	-880 105 -923 -31,827 -368 -1,596 -17,041 -2,472 -10,350 -24,214 -4,381 -2,925 -1,311 -323	682 476 123 83 2,851 26 1,794 - 939 278 1,693 11,753 11,758 4,016 2,439 3,121 2,182	-443 -157 -288 -13,625 -42,583 -5,468 -1,632 -1,900 -6,795 -2,508 -1,033 -5,22 -1,033	-20 -3 9 -26 546 -8 103 248 -2 204 -5,732 -5,449 -127 260 781	-32 104 490 119 272 -10,220 5,294 353 93 134 4835				
50-54-	>55—59									
総物 ・	-66,563 -63,530 -244 -363 -499 -108 -63,286 -1,685 -1,889 -26,579 -5,499 -31,412 -3,089 26,269 5,281 -130 6,014 -15,104 -29,357	$\begin{array}{c} -54,531\\ -526\\ 66\\ -484\\ -108\\ -54,006\\ -1,053\\ 1,619\\ -20,150\\ -4,179\\ -30,243\\ -9,655\\ 4,452\\ -17\\ -3,189\\ 1,297\\ 6,221\end{array}$	3,124 625 425 112 88 2,499 -222 1,718 -200 0 1,003 11,660 11,670 4,674	$\begin{array}{r} -10,678 \\ -251 \\ -117 \\ -144 \\ 10 \\ -10,427 \\ -549 \\ -1,761 \\ -5,108 \\ -1,436 \\ -1,573 \\ -2,613 \\ -2,119 \end{array}$	44 -94 3 14 -111 137 -9 90 92 44 -80 30 244	-1,488 -14 -14 -1,489 -51 223 -1,213 -1,213 -520 -2,511 10,016 909 98				
55-59-	>60-64									
総物 整性林農林漁工鉱建製電運的業即金所 動農 鉱建製電運的業即金所 物商 物商 動館 一定漁寨業運業設造方衛通産廠」 物商 物商 の農 、水信計サ売除業ス ・水信計サ売除業ス ・水信計サ売除業ス ・水管・水管・水管・水管・水管・水管・水管・水管・水管・水管・水管・水管・水管・	$\begin{array}{c} -124,791 \\ -59,978 \\ -1,303 \\ 221 \\ -1,288 \\ -235 \\ -58,675 \\ -5,090 \\ -32,589 \\ -3,364 \\ -17,218 \\ -64,860 \\ -45,350 \\ -16,919 \\ -4,056 \\ 2,692 \\ -27,068 \\ -19,510 \\ \end{array}$	$\begin{array}{c} -68,012 \\ -44,255 \\ -1,267 \\ -1,267 \\ -100 \\ -42,988 \\ -255 \\ -3,597 \\ -21,641 \\ -2,766 \\ -14,765 \\ -15,733 \\ -7,889 \\ -3,836 \\ -3,613 \\ -8,032 \\ \end{array}$	-1,593 572 -1,282 13 -901 -3,575 -3 575	$\begin{array}{c} -128 \\ -122 \\ -5 \\ -6,284 \\ -127 \\ -1,892 \\ -3,274 \\ -427 \\ -564 \\ -22,827 \\ -21,885 \\ -748 \\ -748 \\ -48 \\ -495 \end{array}$	$\begin{array}{c} -2,010 \\ -98 \\ 8 \\ -33 \\ -102 \\ -1,912 \\ 10 \\ -120 \\ -1,280 \\ -49 \\ -473 \\ -8,303 \\ -8,088 \\ -1,510 \\ 47 \\ 959 \end{array}$	-12,273 -5,889 9 27 -29 111 -5,898 -48 -533 -5,111 -134 -552 -6,390 3,932 -276 -108 -178 4,493 -10,322				

1975—80年	女子総数	管理的職 業従事者	物的労働就業者計	農林漁業作業者	採鉱採石作業者	運輸通信 従事者	技能工・生産 工程作業者及 び単純作業者		
15—19—	15-19->20-24								
総物 整体 整体 整体 整体 整体 整体 整体 整体 整体 整体	1,807,669 357,467 28,392 25,863 411,7 329,075 1,000 56,465 213,822 8,219 49,569 1,448,349 1,405,237 165,860 12,213 17,1437 43,112	0 1 357 3 96 226 2 30 896 874 415 70 40 349	112,236 68,823 25,848 24,383 94 1,371 42,975 44 3,797 34,514 4,346 43,363 42,511 6,319 784 25,162 852	25, 967 25, 578 25, 479 24, 080 78 1, 321 90 0 23 3 3 3 3 80 362 2 2 2 2 2 18	$\begin{array}{c} -4 \\ 17 \\ 0 \\ 0 \\ 0 \\ 0 \\ 0 \\ 17 \\ 12 \\ 3 \\ 3 \\ 1 \\ 0 \\ 1 \\ -21 \\ -21 \\ -21 \\ -21 \\ -21 \\ -20 \\ 0 \\ 0 \\ 0 \\ 0 \\ 0 \\ 0 \\ 0 \\ 0 \\ 0 \\$	6,50 1 62 2,34 8	4 36,704 347 5 288 13 4 46 2 36,357 1 21 9 3,142 9 3,142 9 91 187 0 91 27 7 37,412 6 37,114 288 8 13,80 9 22,918		
20-24-	>25-29								
総物 数生林農林漁工鉱建製電運的業頭金不 整漁業業業運業設造が輸生金売融動一 整漁業業業運業設造が輸生金売融動一 物商 が商出金不サ形 公 公 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	-750,457 -257,878 26,036 24,845 -143 1,334 -283,914 -238,988 -4,766 -35,060 -492,290 -483,098 -244,610 -156,960 -192,797 -9,192	11 2 2 7 997 5 364 526 2 100 1,645 1,623 888 88 61 115 549	-64,436 -59,582 25,953 24,085 24 1,844 -85,535 3,043 -76,076 -149 -12,358 -4,960 -4,369 -2,942 -1,853 -169 -595 -591	26,079 25,872 25,605 23,711 8 1,886 267 -70 187 1 1 12 185 200 162 -2 3 37 -15	19 23 2 2 2 0 0 0 21 19 4 -2 0 0 -5 -7 3 -15 0 5 2	-18,74 -18,74 -2 -49 -5,02 -10 -13,10 -9,28 -8,51 -4,27 -1,94 -22	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$		
25-29-	>30—34								
総物的 要性林農林漁工鉱建製電運的業館金不中務 的農 鉱工鉱建製電運的業館金不中務 物商 電漁業業業運業設造才輸生金売融動 一 場場 一 場場 一 場場 一 場場 一 場 一 場 一 第	175,084 104,861 -5,329 -7,419 17,310,190 -471 21,712 96,797 -7,663 -7,643 68,944 74,105 -4,326 -1,038 3,699	2,980 44 14 6 24 2,936 18 1,137 1,507 2 27 2 4,181 4,152 2,668 72 376 1,036	189,000 149,002 -5,739 -8,143 2799 2,125 154,741 146,632 42 -2,140 39,789 39,871 -511 -29 15,692 -82	-5,445 -6,034 -6,390 -8,812 215 2,207 356 0 98 238 238 0 200 530 525 189 322 5	-52 -40 2 2 0 0 -42 -49 -10 2 0 -5 -12 -8 1 1 -15 0 6	3 3 3 -7,23 -41 -2,39 -5,21 -4,63 -2,12 -68 -23 -1,58	66 613 635 1 655 -87 7 161,664 8 71 9 10,524 7 148,789 3 45 0 2,235 2 44,483 6 43,990 5 26,654 9 188 9 189 9 16,947		

1975—80年	非物的労働 就業者計	事務従事者	販売従事者	専門的・技 術的職業従 事者	サービス職業従事者	保安職業従 事者
15—19—	>20-24		<u> </u>	+		
総物 数生林農林漁工鉱建製電運的薬即金所と産漁業業運業設造が輸生金売融動! 産漁業業業運業設造が輸生金売融動! 水管計学の金が東京の水門金の水門金の水門金の水門金の水門金の水門金の水門金の水門金の水門金の水門金	1,692,086 288,081 2,539 1,477 318 744 285,542 953 52,541 178,951 7,938 45,159 1,403,770 1,361,551 1508,844 164,988 11,923 675,796 42,219	937,769 259,392 2,087 1,103 305 679 257,305 50,913 159,210 7,691 38,566 678,243 641,895 265,173 158,400 10,990 207,332 36,348	184,140 8,444 166 123 7 36 8,278 2 594 5,905 44 1,733 175,672 175,677 165,579 5,084 5,544 4,464 -5	448,077 14,504 157 139 9 14,347 17 17 18 13,138 179 298 433,519 430,252 13,842 1,274 15 10,036 3,267	118,696 5,709 129 112 -3 20 5,580 9 315 680 24 4,552 112,749 64,234 228 278 48,009 215	3,404 32 0 0 0 0 3,32 0 4 138 0 10 3,372 978 16 2 2,394
20-24-	>25-29					
総物 数生林農林漁工鉱建製電車等的企動中 一定漁業業業運業設造が輸生金売融動 一 一度漁業業業運業設造が輸生金売融動 一 物商 製電車砂売院業ス 非 一定漁業ス ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	-688,522 -199,509 72 72 748 -164 -512 -199,581 -7,802 -163,588 -4,619 -22,836 -489,238 -480,602 -242,679 -155,172 -1,774 -8,636	$\begin{array}{c} -604,891 \\ -191,053 \\ -382 \\ 346 \\ -188 \\ -540 \\ -190,671 \\ -725 \\ -8,257 \\ -156,158 \\ -4,603 \\ -20,982 \\ -413,962 \\ -406,709 \\ -181,057 \\ -164,050 \\ -2,111 \\ -59,491 \\ -7,253 \\ \end{array}$	$\begin{array}{c} -53,544 \\ -3,018 \\ 118 \\ 87 \\ 87 \\ 23 \\ -3,136 \\ 2 \\ 265 \\ -3,676 \\ -31 \\ 300 \\ -50,558 \\ -50,558 \\ -50,558 \\ -50,588 \\ -50,281 \\ -20 \\ -20 \\ \end{array}$	$\begin{array}{c} 7,569 \\ -2,416 \\ 218 \\ 223 \\ 7 \\ -12 \\ -2,634 \\ -8 \\ -15 \\ -2,674 \\ 16 \\ 477 \\ 9,954 \\ 8,064 \\ 861 \\ -162 \\ -7 \\ 7,372 \\ 1,890 \\ \end{array}$	$\begin{array}{c} -33,816 \\ -3,019 \\ 118 \\ 92 \\ 97 \\ 17 \\ -3,137 \\ -5 \\ 198 \\ -1,066 \\ -1,066 \\ -2,263 \\ -30,835 \\ -30,930 \\ -30,930 \\ -3,203 \\ -76 \\ 101 \\ -27,752 \\ 95 \end{array}$	-3,840 -3 0 0 0 0 0 7 -14 4 -3,837 -489 -3,348
25—29—	>30-34					
総物 動性林農林漁工鉱建製電運的菜卸金不 動農 鉱 製造が制建産助小保産ビ 強体農本・農・ ・ 動産 ・ 動産 ・ 動産 ・ 動商 ・ 動産 ・ 動商 ・ 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	-18,780 -47,493 -47,493 -358 697 -112 -227 -47,851 -483 10,327 -51,621 -227 -58,407 24,673 46,587 -3,903 -17,868 3,734	$\begin{array}{c} -144,378 \\ -44,362 \\ -44,362 \\ 12 \\ 348 \\ -113 \\ -223 \\ -44,374 \\ -9,992 \\ -48,134 \\ -260 \\ -5,488 \\ -100,129 \\ -103,677 \\ -51,970 \\ -25,276 \\ -1,386 \\ -25,043 \\ 3,548 \end{array}$	$\begin{array}{c} 90,114\\ 488\\ 160\\ 173\\ 111\\ -24\\ 328\\ 13\\ 502\\ -429\\ 14\\ 228\\ 89,556\\ 89,557\\ 63,757\\ 21,435\\ 872\\ 3,511\\ -15\\ \end{array}$	$\begin{array}{c} -18,534 \\ -3,436 \\ 103 \\ 110 \\ -2 \\ -5 \\ -3,539 \\ -4 \\ -33 \\ -3,478 \\ -15 \\ -15 \\ -19 \\ -15,308 \\ -890 \\ -191 \\ -14,237 \\ 161 \end{array}$	54,380 -206 83 66 -8 -28 -5 -141 410 33 -586 54,508 53,982 35,696 129 363 17,794	- 362 23 0 0 0 0 23 23 7 10 1 5 - 385 101 - 6 0 0 0 7 7 486

1975—80年	女子総数	管理的職 業従事者	物的労働 就業者計	農林漁業作業者	採鉱採石 作 業 者	運輸通信 従事者	技能工・生産 工程作業者及 び単純作業者
30-34-	>35—39						
総物 整体 ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は	566,208 216,453 -34,049 -36,634 2,7412 250,502 5144 35,074 204,657 1,881 8,7446 352,376 336,771 202,065 19,821 4,110,741 15,605	1,429	-35,011 -37,339 2,129 206,693 36 15,538 188,901 2,030 47,489 46,743 29,400 86 270 16,987	-34,297 -35,212 -35,700 -38,013 -38,013 -2,183 -488 -1 -108 372 0 9 9 828 818 8231 -2 2 583 10	65 47 64 4 1 1 41 25 18 -20 0 0 18 15 6 1 1 0 8 8	-2,407 -2,103 44 28 11 -2,153 -2,153 -2,153 -3,37 -1,816 -2,97 -1,38 -1,94 -1,94 -16.	38 208,950 36 635 46 642 57 57 -64 1 208,315 6 15,307 151 15,307 151 157 46,940 46,046 46
35-39-	->4044						
総物 整本 本	361,333 107,006 -63,458 -65,025 1,278 170,464 -43 26,368 135,517 2,022 6,600 256,430 246,661 141,495 15,097 3,719 86,350 9,769	4,959 69 46 11 12 4,890 34 1,551 2,915 2,925 388 5,598 5,598 3,464 255	79,621 -64,068 -65,504 270 1,166 143,689 16,696 124,615 200 2,233 34,179 33,420 18,095 287 387 41,719	-62,920 -64,072 -64,733 -66,190 84 1,373 200 448 0 16 1,031 1,037 216 4 8 809 -6	$\begin{array}{c} -82 \\ -99 \\ 4 \\ 3 \\ 0 \\ 1 \\ -103 \\ -130 \\ 30 \\ -6 \\ 0 \\ 3 \\ 17 \\ 13 \\ 5 \\ 0 \\ 0 \\ 8 \\ 4 \end{array}$	-1,68 21: 22: -1,71: -27: 31: -1,500 -8: -6: -3: -3:	63 145,478 63 632 67 672 67 146,846 64 7 7 16,449 7 16,449 7 16,449 10 3,774 8 162 33,217 6 32,376 7 32,376 7 32,376 8 32,376 9 322 4 13,936
40-44-	->4549						
総物農	86,146 -31,306 -80,203 -81,437 -17 1,251 48,897 -432 17,009 29,012 29,012 119,260 115,277 57,724 9,660 2,914 44,981 3,981	5,266 82 47 34 5,175 2,286 41 6,506 6,370 6,370 444 1,799		527 5 35 925 899 224 6 0	-247 -253 86 1 1 -261 -281 -24 -4 0 6 6 6 6 -10	$ \begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	8 50,261 366 8 503 8 503 4 — 260 4 49,901 2 244 4 9,901 2 2 244 5 5 24,546 5 5 23,782 9 9,078 6 436 436 436 437 434 5 13,834

1975—80年	非物的労働 就業者計	事務従事者	販売従事者	専門的・技術的職業従事者	サービス職 業従事者	保安職業従 事者
30-34-	>35—39					
総物 動性林農林漁工鉱建製電連的薬師金形 動性林農林漁工鉱建製電運的薬師金形 動性林農林漁工鉱建製電運的薬師金形 動工 動工 動工 動工 動工 動工 動工 動工 動工 一 工 一 工 一 工	339,259 39,982 883 664 -32 251 39,099 86 17,934 13,123 1,683 6,273 298,964 224,188 168,914 19,515 3,527 92,232 14,776	96,512 35,580 379 309 60 130 35,201 69 17,645 10,277 1,611 5,599 60,813 47,255 21,990 704 2,254 22,307 13,558	18,482	34,227 395 63 58 2 3 332 -6 44 197 7 9 33,357 427 36 18 32,876 423	8 - 284 725 41 152 74,986 74,122 40,956 289 253 32,624	193 8 1 1 0 0 1 7 7 7 2 -4 0 0 8 8 184 238 21 4 0 213 -54
35—39—	>4044					
新 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	238,727 22,067 541 436 7 98 21,526 -23 8,079 7,717 1,819 3,934 216,371 207,434 119,842 14,541 3,008 70,043 8,937	10 11 19,617 16 7,915 6,370	1,939 166 147 17 2 1,773 -8 364 1,087 19 311 96,830 96,845 79,643	26,984 470 52 43 0 9 418 -29 46 219 60 122 26,464 25,839 717 74 -1 25,049 625	-193 83 27 -20 76 -276 -275 54 104 -185 49,962 49,257 25,478 378 216 23,185	83 -5 1 1 0 0 -6 -4 5 -13 1 5 88 82 23 23 23 26 -140
4044	>45-49					
総物 ・	83,238 -4,388 329 365 -25 -11 -4,717 -231 1,270 -7,345 87,403 84,268 44,561 8,940 2,057 28,710 3,135	10 -11 -2,792 -163 1,384 -5,961 674 1,274 4,198 1,209 -5,084 84,885	1,048 191 225 225 211 -55 857 5 374 194 38 246 53,160 53,180 41,025 7,981 883 3,391	113 10,752	$\begin{array}{c} -2,952\\ 62\\ 62\\ 69\\ -58\\ 51\\ -3,014\\ -27\\ -571\\ -1,640\\ -770\\ 19,380\\ 19,333\\ 8,206\\ 336\\ 336\\ 10,466\\ \end{array}$	-63 29 0 0 0 0 29 3 7 7 7 0 122 -87 1244 20 -1 -1 106 -211

1975—80年	女子総数	管理的職 業従事者	物的労働就業者計	農林漁業作 業 者	採鉱採石 作 業 者	運輸通信 従事者	技能工・生産 工程作業者及 び単純作業者
45-49-	>50-54				·		
総物的農 財生林農林漁工鉱建製電運的業均金不 財業 運漁業業運業設造が輸生金売融劃 鉱 鉱工鉱建製電運的業均金不 中務 公 工事 工事 工事 工事 工事 工事 工事 工事 工事 工事 工事 工事 工事	-142,029 -141,605 -90,908 -91,499 -5093 1,184 -50,697 -909 6,737 -53,392 -3,295 -624 500 -8,921 1,156 2,594 5,671	10,836 4,842 57 46 13 -2 4,785 37 1,628 2,713 5 402 5,884 5,852 3,294 215 663 1,680	-100,661 -124,027 -91,514 -91,959 -596 1,041 -32,513 -465 7,501 -38,831 142 -860 23,125 23,095 3,176 478 626 18,815	-90,284 -91,284 -91,991 -92,454 -695 1,158 132 132 132 132 248 12 10 561	- 392 - 412 11 10 0 1 - 423 - 402 - 402 19 15 9 0 6 4	- 25 - 34 - 367 - 2 - 2,145 - 438 - 329 - 256 - 3 - 256 - 45	3 -29,813 411 450 91 2 -130 3 -30,224 7,398 7 -38,972 1 143 1,247 3 22,713 9 22,578 3 469 641 15 18,293
50-54-	>55-59						
総物	-277,177 -193,807 -94,955 -93,105 -1,206 -88,852 -883 -1,986 -89,167 -811 -6,007 -82,466 -79,733 -43,570 -6,931 1,491 -30,722	13 -11 21,805 844 1,728 3,238 3,222 2,198 -115 414 732	- 94,655 - 93,154 - 895 - 606 - 71,006 - 71,006 - 70,354 102 - 1,133 18,988 19,465 - 2,619 188 - 21,228	$     \begin{array}{r}       -4 \\       17 \\       720 \\       743 \\       175 \\       9 \\       6 \\       553 \\   \end{array} $	77 77 70 0 -344 -301 -28 -16 0 1 -20 -12 -15 0 0 3	-1,215 -47 -36 -199 -37 -896 -58 -39 -166 -44 -33 -15	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$
5559	->6064						
総物 物 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型	-326,677 -192,315 -102,055 -98,944 -1,647 -1,444 -90,266 -7,355 -76,176 -644 -5,48 -133,531 -127,072 -55,533 -10,025 -61,156 -6,457	54 28 981 981 451 451 422 422 1,040 1,122 1,040 1,122 1,73 1,73	6 - 168,418101,77798,985 - 1,414 - 1,37766,6443,6153,6151,1771,1776,2551,9841,9847,7728,772	- 101,079 - 101,1304 - 98,786 - 1,321 - 1,197 - 24 - 24 - 23 - 23 - 71 - 3 - 115	-235 8 8 8 2 6 -244 -228 -12 -12 -15 -15 -15 -15 -15 -15 -15 -15 -15 -15	-45	$egin{array}{lll} 7&-66,847\\ 8&-494\\ 8&-420\\ 3&-92\\ 3&-82\\ 5&-66,153\\ 0&-61,646\\ 1&-3,559\\ -61,646\\ 4&-37\\ 1&-787\\ 5&286\\ 4&1,981\\ 2&-6,258\\ 5&28\\ 4&1,981\\ 3&7,770\\ \end{array}$

1975-80年	非物的労働就業者計	事務従事者	販売従事者	専門的・技 術的職業従 事者	サービス職 業従事者	保安職業従 事者
45—49—	>50-54					
総物 財業 本語 本語 本語 本語 本語 本語 本語 本語 本語 本語	$\begin{array}{c} -50,997 \\ -22,594 \\ 540 \\ 406 \\ -10 \\ 144 \\ -23,134 \\ -477 \\ -2,417 \\ -17,389 \\ -28,582 \\ -28,541 \\ -15,427 \\ 475 \\ 1,300 \\ -14,866 \\ -41 \end{array}$	8 18 -39 249 -18,249 -404 -2,286 -13,751 -19,216 -19,479 -13,611 -2,242 1000 -3,726	8 252 252 252 1 11 -2441 200 -550 3,301 2,416 766 2,067	7 $-74$ $-22$ $59$ $-131$ $-23$ $43$ $-5,840$ $-5,949$ $-174$ $106$ $-5,887$	37 109 -4,568 -51 -409 -2,937 -71 -1,100 -11,883 -11,578 -4,735 172 424 -7,439	20 3 2 1 1 1 1 1 1 9 -20 0 1 1 17 115 -8 3 3 1 119 -98
50-54-	>55-59					
総物 ・	$\begin{array}{c} -135,720 \\ -31,109 \\ -332 \\ 34 \\ -307 \\ -59 \\ -30,777 \\ -345 \\ -3,772 \\ -20,634 \\ -919 \\ -5,107 \\ -102,750 \\ -102,750 \\ -43,188 \\ -7,003 \\ 406 \\ -52,724 \\ -2,270 \\ \end{array}$	-20,344 -247 -81 -138 -22 -20,097 -211 -2,563 -13,109 -697 -3,511 -25,286 -24,24 -13,486 -3,697 -321 -6,732	-943 -47 -14 -3 -67 -7 -896 -7 -1,055 -7 -1,055 -7 -1,055 -7 -1,055 -1,056 -1,0	-305 72 67 3 2 -377 -11 31 -317 -56 -20,876 -20,876 -520 34 -719,891	$\begin{array}{c} -9,497 \\ -111 \\ 34 \\ -179 \\ 34 \\ -9,386 \\ -130 \\ -1,367 \\ -6,144 \\ -168 \\ -1,577 \\ -40,242 \\ -12,832 \\ -40,242 \\ -12,832 \\ -408 \\ 39 \\ -27,041 \\ \end{array}$	−6 −7 45
55—59—	->6064					
総物と 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水	-159,635 -25,018 -336 -24,685 -24,685 -24,685 -24,680 -15,210 -61,211 -134,731 -130,200 -50,422 -9,702 -1,026 -69,044 -4,530	-12,999 -18: -18: -10: -44: -3: -12,81: -13: -2,32: -7,53: -2,50: -19,83: -17,44: -8,07: -1,91: -44: -6,99: -6,99:	0 -1,028 0 1,034 1 65 1 -55 1 -1,044 0 5 1 -1,028 1 -1,028 1 -1,028 1 -2,033 1 -30,333 1 -30,333 1 -23,418 7 -23,418 7 -27,055 8 -40	-158 2 11 -10 1 -10 -10 -10 -10 -10 -10 -10 -1	-10,788 -177 -177 -177 -187 -198 -198 -199	-44 ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (

1980—85年	男子総数	管理的職 業従事者	物的労働就業者計	農林漁業作 業 者	探鉱採石作業者	運輸通信 従事者	技能工・生産 工程作業者及 び単純作業者
15—19—	>20-24						
総物 整本 大學 大學 大學 大學 大學 大學 大學 大學 大學 大學	2,173,047 1,003,857 39,399 29,745 1,943 7,710 964,458 3,101 173,710 581,818 19,645 1,159,500 1,046,458 541,020 55,610 8,386 451,473 113,011	2,544 13 855 1,371 10 295 2,817 2,817 1,545 202 149 922	29,067 1,128 7,570 723,609 2,595 138,072 435,828 10,536 234,826 231,781 133,088 251 600 97,835	39,527 37,213 36,201 28,082 920 7,199 1,012 -2 800 220 0 7,253 6 2,265 217 2 2,038 50	2,223 1,834 -1 -1 0 1,835 1,383 424 25 1 2 384 386 9 0 2 374 -2	43- 6,014 8,494 100 96,58 18,324 17,514 10,011 7,36	2 610,195 1 1,064 1 93 5 155 1 699,131 1 699,131 1 699,131 1 47,087 3 10,432 4 40,002 3 213,799 5 211,614 4 175 10 88,063
20—24—	>25-29						
総物 医性性性 医神经性 医神经性 医神经性 医神经性 医神经性 医神经性 医神经性	875,102 341,481 4,285 3,366 597 327,196 2,034 50,792 203,965 5,931 74,477 529,81E 493,152 122,801 59,065 8,837 302,452	9,984 1299 26 43 43 486 4 7,70 2 3,486 5,172 11,471 6 11,471 2 11,452 6,096 2 1,138 486 2 3,732	93,909 3,899 3,210 516 168 90,015 1,265 1,265 44,179 1-1,044 44,179 1-17,198 1-17,198 1-23,678	3,554 3,097 450 6 1300 6 197 25 83 83 3008 327 53 88	712 -1 0 0 -1 713 668 51 1 -2 4 189 194 -5 0 0	1 -62 6 37,83 -1,79 -1 -1 39,37 2,29 1,91 -2,99 3 4,91	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$
2529	>30-34						
総物股 飲生林農工飯建製電運的業 動民 飲生林農工飯建製電運的業 一個企業業業運業設造ガ輸生金売融動 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般	45, 231 13, 038 -2, 46; -1, 57; -1, 03; 15, 500 -77; -4, 100 -65; 19, 43; 29, 14; 27, 66; -49, 25; -3, 95; 3, 95; 77, 57, 1, 47;	3 16,27° 25° 25° 25° 25° 25° 25° 25° 25° 25° 25	79,655 71,382 723 258 8 -917 8 -78,273 1 -38,706 1 -38,706 1 -4,661 1 0,237 1 -24,661 1 -24,621 1 -21,622 1 -11,627 1		595 -1 -2 -60 512 -2 -7 -7 -8 -8 -6 -6 -6 -7 -7 -7 -7 -7 -7 -7 -7 -7 -7 -7 -7 -7	57 -36 -12 -5 -18 -93 -5,61 -3,36 -3,36 -5,30 -5,30 -5,30 -5,30 -5,40 -5,61 -5,61 -5,71 -1,52	1 - 79,857 1 - 75,857 1 - 55 3 - 77 2 - 24 22 - 80,007 34 4 - 33,541 8 - 42,411 80 - 4,627 77 - 237 19 - 16,451 19 - 16,451 19 - 16,451 19 - 12,451 19 - 12,351

Γ	I I	1				
1980—85年	非物的労働 就業者計	事務従事者	販売従事者	専門的・技 術的職業従 事者	サービス職 業従事者	保安職業従 事者
15-19-	>20-24					
総 物 生 生 性 性 機 業 体 発 業 業 本 株 業 業 本 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	1,161,635 240,077 1,850 840 816	1,126 290 711	54,984 253 193 10	83,488 472 335 92	2,609 -5 20 0	$\frac{3}{2}$
漁業 鉱工運通 鉱業 建設業	194 238,227 528 34,732	96,623 295 7,529	50 54,731 40 7,535 39,793	190	2,614 3 44	1 244
製造業 水震業 水原素 水原素 水原素 水原素 水原素 水原 建的 水量 医 医 医 医 医 医 医 医 医 医 医 医 医 医 医 医 医 医	144,460 9,093 49,413 921,459 811,645 396,264 55,160 7,633 352,587	45,411 6,296 37,092	706 6,657 304,441	2,022 2,620 211,550	2,148 $137,701$	
サービス業 公務	352,587 109,815	72,196 40,873	23,007	196,719 3,701	52,078 69	8,587 65,171
20-24-	>25—29					
総物 総物 総物 総物 総物 の農 鉱 の農 鉱 の農 鉱 の農 鉱 の農 鉱 の農 鉱 の の の の の の の の の の の の の	773,267 238,024 790 505 67 219 237,233 728 43,525 154,412 6,950 31,618 535,202 499,483 140,207 57,889 8,204 293,182 35,718	457 332 17 108 59,409 312 4,716 33,034 2,922 18,425 119,150 79,704 17,088	58,286 79 34 -6 51 58,207 99 10,478 39,418 435	157 61 56 117,686 312 28,341 82,030 3,590 3,413 239,248	$\begin{array}{c} -12\\ -11\\ -4\\ 2\\ 1,598\\ -13\\ -183\\ -7\\ 1,798\\ -23,606\\ -23,592\\ -30,924\\ -19\\ -237\end{array}$	-8 -7 -2 1 333 1 2 113 10 207 -9,946 213 -95
25—29—	>30-34					
総物	111,155 76,675 -767 -549 -117 -101 77,441 218 32,243 33,680 3,981 7,320 34,552 30,184 -48,181 -6,044 2,944 81,465 4,368	$\begin{array}{c} -24,779 \\ -9,501 \\ -73 \\ 121 \\ -94 \\ -100 \\ -9,429 \\ 19 \\ -5,888 \\ 646 \\ -506 \\ -15,269 \\ -24,342 \\ -12,314 \\ -10,670 \\ 83 \\ -1,440 \\ 9,073 \end{array}$	$     \begin{array}{r}       -135 \\       -107 \\       -5 \\       -23 \\       14,853 \\       66 \\       8,061 \\       2,022 \\       100 \\    \end{array} $	27,905 37,826 3,134 1,982 73,426	1,198 12 -8 0 20 1,186 -1 -33 -317 -7 1,731 -10,670 -18,088	-6 -4 0 -2 -145 3 9 38 1 -213 -5,540 1,181

							1
1980-85年	男子総数	管理的職 業従事者	物的労働 就業者計	農林漁業作 業 者	採鉱採石 作 業 者	運輸通信 従事者	技能工・生産 工程作業者及 び単純作業者
30-34-	>35-39		'				
総物と を加速 を加速 を加速 を加速 を加速 を加速 を加速 を加速	-30,556 -23,167 -5,365 -3,659 -1,771 -17,803 -3,473 -23,716 -333 9,151 -10,230 -7,732 -59,619 163 2,551 49,143 -2,498	66 60 79 20,436 166 8,314 8,656 123 3,176 20,088 19,308 5,970 3,841 1,282	-54,075 $-4,342$ $-1,641$ $-19,231$ $-15,137$ $-3,285$ $-115$ $-483$ $-11,254$	-3,743 -3,430 -3,635 -2,395 -7,318 -05 -405 -7 -1 -191 -276 -180 -253 -17 -2 -96	608 534 -11 -4 -1 -6 545 393 169 -13 -7 74 76 -9 0 -11 -86 -2	- 18,85 - 60 - 15, - 13, - 31, - 18,25; - 49, - 7,74; - 5,72; - 6,6 - 4,22; - 9,59; - 9,19, - 9,48; 12; - 5,21; - 21;	7 — 86,966 209 8 187 14 — -6 4 — -87,175 4 335 5 — -37,670 -48,343 6 — -4,272 1 — -5,841 6 — -5,841 6 — -224 6 — -224 6 — -11,647
35-39-	>40-44						
総物思 通 業業 選業 業 業	-47,132 -35,732 -7,048 -5,067 -2,047 -28,685 101 -4,422 -24,833 -433 -433 -433 -438 -14,295 -48,100 1,871 1,348 30,587	232 15 141 76 794 96 2,101 -4,275 402 2,470 4,987 2,544 -8,828 6,398 812 4,162		-5,456 -5,415 -5,492 -3,912 -1,617 -17 -336 -47 -7 -49 -178 -10 -178 -10 -233 -56	$\begin{array}{c} 69\\ 36\\ -7\\ -2\\ -5\\ 0\\ 0\\ 42\\ 83\\ 9\\ -27\\ -3\\ -20\\ 32\\ 33\\ -16\\ -4\\ -2\\ 56\\ -1\\ \end{array}$	- 23,66 - 588 - 131 - 144 - 300 - 23,07 - 4,32 - 6,432 - 4,81 - 4,-11 - 7,44 - 6,99 - 6,85 - 6,85 - 44 - 24	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$
40—44—	>45-49						
総物と 数生林農林漁工鉱建製電運的業館金元中務 物・農 動生林農林漁工鉱建製電運的業館金元中務 動・農 動・工鉱建製電運的業館金元中務 が信計中全売融動 一 という。 ・おり、 ・まり、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	-66,774 -53,272 -9,777 -6,342 -9,586 -2,847 -43,524 -396 -13,757 -27,550 -16,234 -16,638 -47,402 1,633 1,312 28,819 -596	-26,750 357 45 297 16 -27,107 34 -2,758 -25,739 385 -12,344 -16,060 -17,566 367 1,479		-7,362 -7,458 -7,399 -4,883 -2,158 -60 -20 3699 -147 1 -262 146 250 -242 -12 0 0 504 -104	- 618 - 572 - 11 - 2 - 54 - 561 - 422 - 26 - 84 - 45 - 5 - 24 - 45 - 49 - 32 - 1 0 - 15	$\begin{array}{c} -21.17\\ -73\\ -8\\ -28\\ -37\\ -20.43\\ -38\\ -5.40\\ -4.37\\ -6\\ -10.20\\ -6.11\\ -5.20\\ -4.72\\ -6\\ -10.20\\ -6.11\\ -5.20\\ -4.72\\ -6.11\\ -5.20\\ -4.72\\ -6.11\\ -5.20\\ -4.72\\ -6.11\\ -5.20\\ -4.72\\ -6.11\\ -5.20\\ -4.72\\ -6.11\\ -5.20\\ -4.72\\ -6.11\\ -5.20\\ -4.72\\ -6.11\\ -5.20\\ -4.72\\ -6.11\\ -5.20\\ -4.72\\ -6.11\\ -5.20\\ -4.72\\ -6.11\\ -5.20\\ -4.72\\ -6.11\\ -5.20\\ -4.72\\ -6.11\\ -5.20\\ -4.72\\ -6.11\\ -5.20\\ -4.72\\ -6.11\\ -5.20\\ -4.72\\ -6.11\\ -5.20\\ -4.72\\ -6.11\\ -5.20\\ -4.72\\ -6.11\\ -5.20\\ -4.72\\ -6.11\\ -5.20\\ -6.11\\ -6.11\\ -5.20\\ -6.11\\ -6.11\\ -6.10\\ -6.11\\ -6.10\\ -6.11\\ -6.10\\ -6.11\\ -6.10\\ -6.11\\ -6.10\\ -6.11\\ -6.10\\ -6.11\\ -6.10\\ -$	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$

1980—85年	非物的労働 就業者計	事務従事者	販売従事者	専門的・技 術的職業従 事者	サービス職業従事者	保安職業従 事者
30-34-	>35—39					
総物 整体 整体 整体 整体 整体 整体 整体 整体 整体 整体	52,847 64,857 -669 -667 53 -55 65,526 21,006 3,865 -7,750 -11,871 -12,553 -62,688 -3,605 1,759 51,981	$\begin{array}{c} -29,133 \\ -16,204 \\ 16,204 \\ 86 \\ -122 \\ -16,216 \\ 80 \\ -5,598 \\ -11,491 \\ 1,023 \\ -230 \\ -12,928 \\ -18,285 \\ -13,818 \\ -5,108 \\ -602 \\ 1,243 \\ 5,357 \end{array}$	$\begin{array}{c} -13,104\\ 15,310\\ -75\\ -68\\ -12\\ 5\\ 15,386\\ 61\\ 10,643\\ -1,569\\ 237\\ 6,013\\ -28,352\\ -28,352\\ -28,352\\ -38,795\\ 1,287\\ 1,886\\ 7,271\\ 0\\ \end{array}$	$100,382 \\ 64,928 \\ -618 \\ -627 \\ -19 \\ 28 \\ 65,546 \\ 988 \\ 27,694 \\ 34,335 \\ 2,591 \\ 829 \\ 35,501 \\ 37,000 \\ 1,886 \\ 229 \\ 24,666 \\ -1,499 \\$	2 -73 -339 -7 1,353 -4,496 -4,339 -11,924 -25 249 7,362	-1,731 -130 -4 -2 -2 -2 0 -126 9 -111 -215 -1,596 1,422 -36 -1,494 -3,019
35-39-	>40—44					
総物 競生林農林漁工鉱建製電通的薬餌金配分 産漁業業業運業設造坊地企動的 大大漁工鉱建製電通的薬餌金配分 物商 一、企業 、企業 、企業 、企業 、企業 、企業 、企業 、企業	45,588 60,936 60,936 -224 -351 146 -19 61,160 248 25,450 24,294 3,634 7,534 -15,283 -16,266 -43,401 -4,665 943 30,884 983	$\begin{array}{c} -15,299 \\ -8,404 \\ 109 \\ 42 \\ 140 \\ -73 \\ -8,513 \\ 37 \\ -3,481 \\ -6,910 \\ 1,030 \\ -6,892 \\ -9,922 \\ -6,937 \\ -5,972 \\ -182 \\ 3,169 \\ 3,030 \\ \end{array}$	-48 16,810 69 9,072 1,885 300 5,485 -26,996 -26,996 -33,867 1,001	69,723 52,276 -296 -322 8 18 52,572 137 19,847 29,496 2,497 57,565 17,468 18,057 1,575 271 121 16,090 -589	168 4,936	385 84 -5 1 -3 -3 89 4 27 147 30 -119 301 1,642 -6 19 21 1,607 -1,340
40-44-	>4549			`		
総物 整体 建二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二	50,013 58,385 -233 -211 13 -35 58,619 311 19,597 30,543 2,292 5,877 -8,288 -7,025 -36,593 1,722 1,226 26,620 -1,263	7,126 2,400 -6 97 -26 -77 2,406 44 -1,379 1,607 4,77 1,655 4,724 4,640 -1,036 -709 -74 6,459 84	17,088	50,146 38,613 -67 -139 53,19 38,681 151 13,975 22,749 1,537 26,749 11,553 11,770 1,418 284 175 9,894 -217	50 56 -16 -4 76 -6 4 -47 -229 -5 271	2,625 448 -3 6 -8 -1 451 15 71 373 19 -289 3,153 34 39 2,179 3,558 -975

1980—85年	男子総数	管理的職 業従事者	物的労働就業者計	農林漁業作業者	採鉱採石作業者	運輸通信 従事者	技能工・生産 工程作業者及 び単純作業者
4549	>50-54						
総物農 如果 水管計學系統 化原子 医腹膜炎 医皮肤	-103,657 -92,327 -9,002 -3,025 -1,488 -4,489 -83,325 -1,429 -27,808 -40,257 -1,216 -12,614 -14,573 -3,541 -42,758 -22 -3,708 -42,522 -18,114	105 34 -30,467 100 -3,949 -27,280 -92 754 -17,987 -20,257 -14,997 -7,402 781 1,360	$\begin{array}{c} -100,537 \\ -109,708 \\ -5,934 \\ -1,442 \\ -4,155 \\ -103,774 \\ -1,382 \\ -41,884 \\ -3,155 \\ -17,915 \\ 9,365 \\ 12,821 \\ 6,541 \\ 237 \\ -82 \\ 6,125 \\ -3,456 \end{array}$	-338 -29 326 -329 -1 -305 948 1,054 -158 -24 -7	-3 -8 -6 -1,175 -927 -188 -30 -31 -36 -31 -62 -1 1 30	$\begin{array}{r} -32\\ -24,02\\ -376\\ -4,37\\ -3,426\\ -112\\ -15,74\\ -3,892\\ -3,083\\ -3,083\\ -3,126\end{array}$	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$
50-54-	>55-59						
総物の	-290,570 -284,998 20,463 30,515 -3,272 -6,780 -305,461 -8,894 -30,025 -103,423 -13,624 -149,494 -9,822 46,774 -33,519 -3,875 10,980 73,188 -56,596	-51,332 -794 -36 -714 -44 -50,537 -176 -3,034 -28,159 -4,341 -14,828	-187,501 -211,805 -26,046 -34,018 -1,765 -6,207 -237,851 -7,424 -46,936 -84,270 -7,330 -4,443 -333 -8,549 -333 -886 -21,350 -4,109	27,158 33,610 -950 -5,502 -258 -41 472 -385 0 -305 1,131 1,246 -203	-5,718 -29 -12 -11 -6 -5,689 -5,137 -366 -165 0 -21 -83 -78	$\begin{array}{c} -188\\ -606\\ -62,203\\ -412\\ -3,166\\ -3,198\\ -199\\ -55,233\\ -3,088\\ -1,911\\ -1,899\\ -199\end{array}$	$ \begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$
5559	>60-64						
総物思 道業 道業 業業 業 道業 業業 業	-507,682 -351,563 38,385 49,318 -6,115 -4,818 -3,467 -81,484 -198,965 -14,334 -91,698 -160,754 -117,376 -66,295 -11,160 3,585 -43,506 -43,377	-52,014 -338 -131 -128 -79 -51,677 -338 -8,368 -29,033 -1,531 -12,407 -40,334 -26,958 -13,884 -3,628	- 262, 301 - 238, 566 44,645 52,963 - 4,030 - 4,280 - 2,497 - 75,118 - 147,098 - 6,641 - 51,857 - 35,566 - 30,451 - 17,783 - 787 - 124 - 11,757 - 5,114	45,627 52,663 -3,050 -3,986 -494 -24 190 -442 -8 -211	-15 -6 -4 -1,729 -1,252 -334 -137 -1 -5 -77 -68 -44 0 0 -24	-34,97 -230 -2,684 -3,192 -160 -28,705 -6,055 -4,556 -1,663 -270 -53	$ \begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$

1980—85年	非物的労働就業者計	事務従事者	販売従事者	専門的・技 術的職業従 事者	サービス職 業従事者	保安職業従 事者
45-49-	>50-54		<u></u> 1	I	l	
総物的農 整性林農林漁工鉱建製電運的業調金不 動態 動館 動館 動館 動館 動館 動館 動館 動館 動館 動館	37,546 44,404 - 323 - 321 - 36 34 44,727 153 15,990 23,065 1,942 3,577 - 6,802 10,568 - 34,144 6,956 3,993 34,663 - 17,370	3,879 70 153 -44 -39	-317 -263 -12 -42 12,102 5,259 3,661 205 2,964 -30,465 -30,465 -37,072 2,742 1,127 2,738	14,713 1,424 113 8,338 11,488 930 467 209 9,883	150 85 -1 -5 91 64 6 6 -157 -17 -226 4,937 5,128 -488 94 802 4,720	1,313 -5 98 1,024 73 11 -3,184 7,259 189 72 196
50-54-	>55-59					
総物 整本 建工	$\begin{array}{c} -29,467 \\ -26,254 \\ -1,622 \\ -691 \\ -695 \\ -236 \\ -24,631 \\ -941 \\ 17,347 \\ 4,755 \\ -1,560 \\ -44,233 \\ -3,141 \\ 35,940 \\ -27,176 \\ 3,813 \\ 8,129 \\ 51,004 \\ -39,082 \\ \end{array}$	-583 107 -557 -133 -45,963 -462 -2,470 -2,588 -42,904 12,002 25,144 2,754 499 2,595 19,297	$\begin{array}{c} -310 \\ -229 \\ -55 \\ -259 \\ -6,789 \\ 14 \\ 5,267 \\ 440 \\ 21 \\ 1,047 \\ -24,175 \\ -24,175 \\ -30,941 \\ 2,508 \\ 2,212 \\ 2,046 \end{array}$	13,877 -618 -559 -60 0 14,495 -476 9,346 6,421 933 -1,728 1,110 6,293 734 630 310 4,619	-594 -97 -12 -3 -82 -497 6 -3 -272 -8 -219 11,265 11,392 -570 35 2,305 9,623	-2,816 529 -15 1 -19 3 4 -21 2275 637 82 -428 -3,343 17,286 847 141 878 15,419 -20,629
55-59-	>60-64					
総物 数生林農林漁工鉱建製電連的楽詞金不中務 的農 鉱 建製電連的楽詞金不中務 域 建 業熟通産融小保度ビ 前	$\begin{array}{c} -162,098 \\ -64,690 \\ -2,810 \\ -2,810 \\ -2,810 \\ -61,80 \\ -347 \\ -249 \\ -61,800 \\ -347 \\ -26,803 \\ -6,259 \\ -28,024 \\ -97,367 \\ -72,033 \\ -45,874 \\ -6,780 \\ 3,954 \\ -23,333 \\ -25,334 \end{array}$	-7 520	-59 -59 -3,635 -3,635 -3,318 -167 -1,771 -34,597 -34,597 -35,728 -855	-87 -590 -473 -96 -22 504 -91 2,289 -363 -421 -990 -31,328	-1,844 -84 -8 -9 -67 -1,760 -14 -119 -1,267 -66 -294 -313 -198 -2,693 -215 1,671 1,039	-5,334 -15 -2 -5,326 -34 -142 -4,083 -177 -890 -8,423 5,358 -349

							lander 11.75
1980—85年	女子総数	管理的職 業従事者	物的労働 就業者計	農林漁業 作 業 者	採鉱採石 作 業 者	運輸通信 従事者	技能工・生産 工程作業者及 び単純作業者
15—19—	>20-24				·		·
総物 整体 を を を を を を を を を を を を を	2,087,789 513,573 15,794 13,738 239 1,817 497,779 1,044 52,614 378,717 7,957 57,447 1,556,614 1,524,671 551,466 13,768 776,597 41,943	1,280 402 3 2 0 1 399 9 4 266 1 38 876 405 69 56 346	205,538 160,199 14,010 12,803 24 1,1822 146,189 12,595 136,138 7,159 45,731 44,590 18,257 210 25,525 723	14,249 13,819 13,742 12,589 1,131 1,131 7 7 0 -1 428 423 588 -4 0 368 5	17 6 0 0 0 0 0 6 6 6 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	2	3 138,500 2 256 5 209 1 1 5 4 6 1 138,244 1 2,257 7 134,551 170 3 1,233 4 40,031 4 39,793 2 16,688 5 166 8 107
20-24-3	>25-29						
総物 ・	-659,107 -165,886 22,453 21,588 -133 998 -188,339 -505 -14,176 -142,528 -5,2885 -497,009 -489,090 -244,325 -1,657 -109,542 -7,919	2,050 605 17 12 1 4 588 2 206 315 -1 65 1,441 1,460 -66 195 512 -19	-12,069 -14,575 23,069 21,717 20 1,332 -37,644 -34 -749 -30,871 -151 -5,839 2,527 2,802 4,000 -1,080 -1,080 -275	22,922 22,871 22,823 21,471 1,322 48 0 10 38 0 0 0 54 66 66 -50 -12 0 128 -12	$\begin{array}{c} -11 \\ -9 \\ 0 \\ 0 \\ 0 \\ 0 \\ 0 \\ -9 \\ -9 \\ -9$	-13,608 -9,266 -7 -3 -7 -7 -7 -7 -7 -7 -7 -7 -7 -7 -7 -7 -7	9 -28,168 251 7 253 -6 6 4 4 -28,419 -9 8 -331 -86 9 -28,490 1 6,817 7 6,816 3 6,229 -174
25—29—3	>30—34						
総物 一定漁業主選主義 一定漁業主選主義 一定漁業主選主義 一定漁業主選主義 一定漁業主選主義 一定漁業主義 一定漁業主義 一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、	$\begin{array}{c} -1,404\\ 69,503\\ 12,640\\ 11,342\\ 64\\ 41,234\\ 56,863\\ -247\\ 1,933\\ 65,827\\ -1,732\\ -8,919\\ -76,800\\ -72,492\\ -5,142\\ -22,355\\ -4,393\\ -44,393\\ -4,308\\ \end{array}$	4,242 1,481 25 22 3 0 1,455 5 6 805 0 138 2,759 2,750 1,550 47 260 892 9	162,105 116,302 12,827 11,300 134 1,393 103,475 699 103,506 -57 -644 45,847 46,091 30,383 -484 16,177 -244	12,355 12,136 12,066 10,573 115 1,378 70 2 14 66 61 -1 -7 7 239 234 17 -3 0 220 5	$\begin{array}{c} -4 \\ 0 \\ -2 \\ -2 \\ 0 \\ 0 \\ 0 \\ 2 \\ -9 \\ 11 \\ 0 \\ 0 \\ 0 \\ -3 \\ -1 \\ -2 \\ 0 \\ 0 \\ 0 \\ 1 \\ -2 \\ \end{array}$	$ \begin{array}{r} -3 \\ -4,698 \\ -1,867 \\ -314 \\ -1,367 \\ -37 \\ -2,965 \\ -3,096 \\ -2,785 \\ -1,266 \end{array} $	9 108,875 774 7 736 20 20 3 17 3 108,102 9 4 988 7 -19 104,808 7 -19 1 48,639 3 31,631 7 26 1 48,639 1 48,639

	,							
1980—85年	非物的労働 就業者計	事務従事者	販売従事者	専門的・技 術的職業従 事者	サービス職 業従事者	保安職業従 事者		
15-19->20-24								
能物 整本林 整本林 是林 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次	1,873,640 353,021 1,845 988 217 640 351,176 992 49,930 242,278	313,061 1,673 859 218 595 311,389	11,640 96 66 0 30 11,544 9 626 8,069	477 42 1 4 23,032 7 1,140 21,384 168 334 460,165 457,566 17,777 1,757	11 5,188 5 183 546 51 4,403 129,050 128,908 61,658 86	4,767 904 29 4		
サービス業 公務	750,735 41,223	238,905 34,598	6,304	437,878 2,619	66,786 142	862 3,863		
20—24—	>25—29	-				,		
総物 ・ 大学 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大	$\begin{array}{c} -652,772 \\ -151,757 \\ -551 \\ -64 \\ -155 \\ -332 \\ -151,206 \\ -473 \\ -13,619 \\ -111,930 \\ -5,092 \\ -20,092 \\ -500,910 \\ -493,300 \\ -248,967 \\ -132,522 \\ -1,792 \\ -110,019 \\ -7,610 \\ \end{array}$	$     \begin{array}{r}       -433 \\       40 \\       -139 \\       -334 \\       -146,487     \end{array} $	29 30 -6 5 -2,868 -3 -78	$\begin{array}{c} -\dot{1}\\ 739\\ -5\\ 164\\ 700\\ -40\\ -81\\ -27,718\\ -29,047\\ 1,275\\ -270\\ 0\end{array}$	$ \begin{array}{rrr} -2 \\ -2,571 \\ -4 \\ -15 \\ -1,015 \\ -1,523 \\ -48,743 \\ -48,729 \\ -21,937 \\ -108 \end{array} $	0		
2529	>30-34							
総物 無強 無難 無難 無難 無難 無難 無難 無難 無難 無難 無難	-173,823 -48,278 -85 142 -73 -154 -48,193 -226 718 -38,617 -1,678 -8,389 -125,460 -121,392 -37,000 -21,950 -21,950 -881 -61,561 -4,068	$\begin{array}{c} -133,182 \\ -42,496 \\ 215 \\ 413 \\ -62 \\ -136 \\ -42,711 \\ -222 \\ 857 \\ -34,423 \\ -1,609 \\ -7,314 \\ -90,671 \\ -87,662 \\ -20,013 \\ -42,087 \\ -1,818 \\ -23,745 \\ -3,009 \\ \end{array}$	-39 -23	$     \begin{array}{r}     -221 \\     -208 \\     -7 \\     -6   \end{array} $	$ \begin{array}{r} -1,423\\ -40\\ -40\\ -2\\ 2\\ -1,383\\ -4\\ -75\\ -49\\ -1,259 \end{array} $	-788 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 -22 7 1 -66 -788 4 -100 0 0 14 -792		

1980—85年	女子総数	管理的職 業従事者	物的労働就業者計	農林漁業作 業 者	採鉱採石作業者	運輸通信 従事者	技能工・生産 工程作業者及 び単純作業者	
30-34->35-39								
総物と ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一	597,207 224,264 -7,873 -9,345 1,345 232,137 16,521 205,212 205,212 9,507 9,507 364,565 363,838 181,018 3,193 4,456 138,171 10,727	8,507 3,136 40 30 6 4 3,996 1,168 1,632 -1 2,761 175 514 1,869 48	262,601 180,032 -8,125 -9,619 125 1,369 188,157 41 950 182,782 4,233 82,685 82,440 54,413 59 110 27,858 245	$\begin{array}{c} -8,466\\ -9,031\\ -9,156\\ -10,701\\ 124\\ 1,422\\ 125\\ -16\\ 68\\ 6\\ 0\\ -16\\ 619\\ 621\\ 61\\ -3\\ -2\\ 565\\ -2\\ \end{array}$	51 38 -2 -2 0 0 39 22 11 4 0 0 2 11 12 10 0 11 -1	-1,907 -1,277 -33 -22 -2 -1,233 -1,235 -1,235 -1,235 -644 -635 -477 -333 -84 -55 -175	190,299 1,105 2 1,105 2 3,38 -44 189,232 5 15 5 15 6 1,030 1 183,135 8 69 4 183,135 5 2,689 3 82,284 5 4,689 6 4,682 6 4,682 6 145 6 145 6 145 6 145 6 127,283	
35-39-	>40-44							
総物農	448,442 149,963 -22,022 -22,203 -55 236 171,986 69 3,661 159,314 23 8,910 290,693 287,559 133,310 23,090 4,699 126,460 3,134	7,977 2,992 15 13 1 0 2,978 9 933 1,737 -2 300 4,981 4,904 2,486 185 591 1,642 77	176,684 102,723 -21,837 -22,138 -13 311 24,560 -7,236 62,891 62,703 40,686 227 179 21,611 188	-22,158 -22,508 -22,508 -22,508 -23,129 -6 481 146 -2 56 98 0 -7 431 431 431 -5 409 0	$\begin{array}{c} -9 \\ -14 \\ -66 \\ -4 \\ -1 \\ -19 \\ -13 \\ 5 \\ 0 \\ 0 \\ 0 \\ 2 \\ 5 \\ -22 \\ -1 \\ 0 \\ 7 \\ -3 \end{array}$	-984 -12,221 -27 -18 -7 -5 -12,195 -10 -214 -184 -117,775 -67 197 22 -222 -130	$ \begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	
4044	>45-49							
総物農	145,180 14,455 -28,303 -27,628 -277 -398 42,758 -58 -7,775 49,148 -2,183 124,510 125,186 36,730 9,997 3,564 74,895 -677	6,654 2,468 22 5 0 18 2,446 13 972 1,216 -2- 247 4,180 4,113 1,889 1 697 1,526 67	48,683 6,445 -27,762 -27,163 -338 -361 34,207 -34 -7,807 40,410 11,607 42,449 42,556 24,985 1599 256 17,155 -107	-28,103 -28,347 -28,343 -28,095 -214 -124 -124 -358 -61 0 -12 -358 363 -9 -7 -1 380 -6	-22 -23 -4 -3 0 -11 -19 -18 0 0 1 0 -2 0 0 4 -5 0 0 0 -19 -2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	-1,575 -1,335 -24 -2,-2 -1,306 -11 -244 -166 -237 -100 -122 -237 -103 -1135	5 36,150 702 702 939 -33 2 -234 3 35,449 4 -7,601 0 23 2,520 7 42,328 3 42,291 4 25,123 3 271 190 3 271 190 3 16,708	

1980—85年	非物的労働 就業者計	事務従事者	販売従事者	専門的・技 術的職業従 事者	サービス職 業従事者	保安職業従 事者		
30-34->35-39								
総物 整体 整体 整体 整体 整体 整体 整体 整体 整体 整体	317,345 41,071 532 549 -3 -14 40,538 94 14,385 20,423 265,958 123,876 29,967 3,831 108,285 10,434	170,790 38,613 700 686 12 2 37,913 91 14,269 18,666 679 4,208 132,167 122,317 78,233 3,835 1,868 38,381 9,850	52,039 1,532 -38 -16 -77 -15 1,570 134 810 618 617 50,542 50,542 20,423 25,614 1,392 3,113	32,295 560 -118 -107 -2 -9 678 5 154 549 -12 -18 31,773 31,525 1,629 0 0 29,886 248	61,662 350 -13 -15 -6 8 362 7 -172 388 21 119 61,233 23,580 514 560 36,578	559 15 0 0 0 0 15 1 1 1 1 4 4 343 343 11 1 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2		
35—39—	>40-44							
総物 数生林農林漁工鉱建製活運和水原業 産漁業業業運業設造が輸生産別小保産 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	255,394 32,915 158 257 -41 -58 32,758 5,990 21,959 4,740 222,640 219,776 90,066 22,685 3,928 103,096 2,864	153,130 30,989 353 382 -4 -25 30,636 6,009 20,742 -49 3,882 122,149 119,846 6,346 6,346 6,346 2,101 36,754 2,303	21,443 695 -143 -88 -7 -48 838 -5 53 74 32 682 32 0,794 20,794 20,794 21,289 2,560 0	31,917 786 -34 -38 1 3 819 -6 121 671 30 31,180 30,885 1,481 26 16 29,362	$\begin{array}{c} 48,331\\ 422\\ -17\\ 1\\ -31\\ 12\\ 439\\ 10\\ -206\\ 461\\ 0\\ 17,948\\ 47,971\\ 47,948\\ 12,806\\ 496\\ 518\\ 34,127\\ 23\\ \end{array}$	573 24 -1 0 0 -1 25 3 12 10 2 -2 545 302 8 -3 4 293 243		
40-44-	>4549							
総物 数生林農林漁工鉱建製電準的業開金不中務 飲的農 鉱建製電準也差融動面 破商 致度 大陰 大陰 大陰 大陰 大陰 大陰 大陰 大陰 大陰 大陰	82,591 5,096 -24 39 -33 -30 5,120 -93 6,532 -77 77,675 78,317 9,793 9,849 2,613 56,061 -642	64,607 5,233 172 189 -6 -12 5,060 -11 -747 6,830 -27 -274 59,378 59,959 40,165 1,374 17,473 -581	$\begin{array}{c} -22,324 \\ -341 \\ -224 \\ -169 \\ -22 \\ -33 \\ -117 \\ -3 \\ -56 \\ -643 \\ 166 \\ 568 \\ -21,923 \\ -21,923 \\ -21,923 \\ -32,313 \\ 8,341 \\ 1,028 \\ 1,021 \\ 0 \end{array}$	14,512 496 -1 9 -2 -8 498 -2 86 384 -3 32 14,064 13,877 709 -25 11 13,182 187	25,435 - 312 - 30 - 11 - 4 - 23 - 343 - 8 - 299 - 39 - 49 - 5,52 - 26,231 - 1,237 - 166 - 625 - 24,203 - 410	360 21 -1 -1 0 0 22 22 1 23 0 -1 -2 2 334 172 -5 -7 -7 2 182 163		

1980—85年	女子総数	管理的職 業従事者	物的労働 就業者計	農林漁業作業者	採鉱採石作業者	運輸通信 従事者	技能工・生産 工程作業者及 び単純作業者	
45-49->50-54								
総物 財業 運漁業業業運業設造が輸生金売融動一 工動運製電運的業卸金不サ務 が開農 が開農 が開農 が開始 が開始 が開始 が開始 が開始 が開始 が開始 が開始	$\begin{array}{c} -126,920 \\ -117,058 \\ -32,513 \\ -30,928 \\ -686 \\ -899 \\ -84,545 \\ -295 \\ -15,743 \\ -60,796 \\ -1,405 \\ -6,307 \\ -114,527 \\ -11,328 \\ -40,667 \\ 682 \\ 3,477 \\ 25,180 \\ -3,350 \end{array}$	4,806 1,707 13 -5 6 11 1,694 10 594 777 -2 315 3,102 3,000 1,045 -155 858 1,252 102	$\begin{array}{c} -74,075 \\ -101,478 \\ -31,431 \\ -29,968 \\ -587 \\ -876 \\ -70,046 \\ -84 \\ -11,552 \\ -55,795 \\ -256,27,665 \\ 27,665 \\ 27,628 \\ 27,665 \\ 27,628 \\ 310 \\ 15,874 \\ -264 \end{array}$	- 31,648 - 31,768 - 31,724 - 30,646 - 543 - 534 - 45 - 66 - 55 - 33 290 323 - 67 - 3 393 - 33	-108 -88 -6 -5 0 -1 -82 -57 -11 -13 0 -1 -23 -18 -13 0 1 -5 -5	-3,93' -3,30' -3' -2' -4' -3,26' -11' -20' -33' -2,69' -63' -38' -20' -5' -11' -10' -25	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	
50-54-	>55-59							
総物別	-349,035 -204,897 -35,197 -32,761 -1,048 -1,388 -169,700 -734 -21,034 -131,698 -1,975 -14,260 -147,661 -141,354 -83,092 -12,412 -3,574 -49,424 -6,307	1,210 -133 8 9 8 -9 -141 113 -252 -38 1,340 1,333 321 -368 824 556 6	-155,109 -167,193 -33,838 -31,656 -889 -1,294 -133,355 -366 -14,113 -113,844 -125 -4,907 12,282 12,522 1,412 -184 304 10,991 -240	-34,157 -34,053 -33,880 -32,081 -799 -1,001 -173 -66 -199 -1 -38 57 79 -147 -10 -240 -22	$\begin{array}{c} -169 \\ -156 \\ -10 \\ -19 \\ 0 \\ -1 \\ -146 \\ -129 \\ -7 \\ -13 \\ 0 \\ 2 \\ -12 \\ -9 \\ -7 \\ 0 \\ 0 \\ -11 \\ -9 \\ -7 \\ -13 \\ -9 \\ -7 \\ -14 \\ -9 \\ -7 \\ -14 \\ -14 \\ -14 \\ -14 \\ -14 \\ -14 \\ -14 \\ -15$	-4,01' -3,06' -5' -4' -(-3,01' -11' -14' -2,46' -95' -67' -11' -11' -11' -27'	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	
55-59-	>60-64							
総物農林漁工鉱建製電運的業卸金不中務的農林漁工鉱建製電運的業卸金不中務的農 鉱 建製電運的業卸金不中務 全球 建二苯苯苯苯苯苯苯苯苯苯苯苯苯苯苯苯苯苯苯苯苯苯苯苯苯苯苯苯苯苯苯苯苯苯苯苯	-404,734 -202,845 -58,940 -54,567 -2,085 -2,289 -143,904 -483 -22,268 -110,003 -1,452 -9,698 -203,867 -196,284 -93,642 -14,376 1,324 -89,589 -7,583	-292 -515 5 -2 5 3 -520 9 19 -422 -1 -11-125 218 319 -135 -379 645 189 -101	-189,601 -174,019 -57,410 -53,502 -1,771 -16,609 -306 -15,991 -96,461 -3,657 -19,159 -18,235 -9,579 -307 -98 -8,251 -924	-58,037 -57,255 -56,996 -53,501 -1,644 -1,851 -75 -75 -155 0 0 -24 -639 -609 -138 -8 -5 -448 -31	$\begin{array}{c} -172 \\ -165 \\ -7 \\ -7 \\ -7 \\ 0 \\ 0 \\ -158 \\ -133 \\ -15 \\ -10 \\ 0 \\ 0 \\ -7 \\ -6 \\ -6 \\ 0 \\ 0 \\ 1 \\ -1 \end{array}$	$\begin{array}{r} -1,26 \\ -5 \\ -16 \\ -2 \\ -1,01 \\ -72 \\ -45 \\ -9 \\ -3 \\ -1 \\ -30 \end{array}$	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	

1980—85年	非物的労働 就業者計	事務従事者	販売従事者	専門的・技 術的職業従 事者	サービス職 業従事者	保安職業従 事者			
45-49->50-54									
総物的農 強生林農林漁工鉱建製電運的業卸金不サ務 動農 動館 動館 動館 動館 動館 動館 動館 動館 動館 動館	-64,025 -18,166 -319 -213 -99 -7 -17,847 -210 -4,912 -7,339 -1,324 -4,062 -45,719 -42,497 -53,418 802 2,314 7,805 -3,222	-47 12 -77 18 -14,153 -148 -4,403 -4,151 -1,234 -4,217 14,253 17,073	$\begin{array}{c} -18 \\ -202 \\ -1,963 \\ -8 \\ 431 \\ -54,761 \\ -54,761 \\ -59,455 \\ 3,163 \\ 1,182 \\ 349 \end{array}$	$\begin{array}{c} -7,754\\ 78\\ 22\\ 22\\ 14\\ 3\\ 5\\ 56\\ 1\\ 47\\ 37\\ -7,804\\ -7,804\\ -7,782\\ -20\\ 11\\ -7,858\\ -22\\ \end{array}$	-2,013 -7 -43 -6 42 -2,006 -370 -1,266 -93 -232 2,336 2,835 -9,600 -90 746 11,778	17 4 1 -5 259 139 9			
50-54-	>55-59		-						
総物 数生林農林漁工鉱建製電型的薬館金 整漁業業準運業設造が輸生金売融動 一 整漁業業準運業設造が輸生金売融動 一 物商 が商 が商 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	-200,727 -38,703 -749 -514 -164 -71 -37,954 -359 -7,225 -19,194 -1,857 -9,319 -161,894 -155,774 -84,893 -11,837 -61,501 -6,120	-250 -134 -83 -39,714 -280 -5,855 -13,267 -1,671 -8,642 -19,586 -14,747 -903 -6,466 175 -7,553	$\begin{array}{c} -413 \\ -353 \\ -27 \\ -33 \\ -2,430 \\ -10 \\ -181 \\ -2,257 \\ -4 \\ 22 \\ -69,177 \\ -69,177 \\ -65,046 \\ -4,677 \\ 1,368 \end{array}$	13 14 -2 1 -689 -23 -513	$\begin{array}{c} -5,214\\ -98\\ -98\\ -39\\ -52\\ -7\\ -5,116\\ -64\\ -1,174\\ -3,138\\ -605\\ -30,955\\ -30,454\\ -18,696\\ -586\\ 908\\ -12,080\\ -12,080\\ \end{array}$	-77 -22 -1 -1 0 -55 3 3 0 -39 -16 -5 -5 34			
55-59-	>60-64								
総物 数生林農林漁工鉱建製電運的業間金不中務 動性大學工作。 一定漁業業業運業設造ガ輸生金売融動 一般大學工作。 一個大學工作。 一個大學工作, 一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	-218,901 -29,301 -837 -381 -143 -28,465 -196 -6,492 -14,624 -1,262 -5,891 -182,830 -87,921 -13,683 -774 -82,000 -6,629	-18,808 -237 -70 -113 -54 -18,571 -120 -4,328 -8,300 -976 -4,847 -21,065 -16,296 -1,801 -3,341 -85 -11,068	-2,513 -342 -280 -222 -41 -2,170 -111 -193 -1,799 -6 -161 -71,429 -61,304 -9,357 708 -1,475	-461 36 50 -12 -2 -497 -4 -27 -353 -36 -77	-7,481 -292 -81 -165 -46 -7,189 -64 -1,920 -4,162 -241 -802 -63,777 -62,958 -24,687 -916 -31,88	-38 -11 0 -17 0 -37 -22 -23 -11 -2 -33 -312 -138 -9 0 0 -129			

## 注

- 1) 藤岡光夫「階層変動・人口移動と移動統計」経済統計学会編『統計学』第57号(産業統計研究社,1989年)
- 2) 藤岡光夫「階層別人口の年齢構造およびコーホート変動分析の方法」『旭川大学地域研究所年報』第10号(同研究所, 1988年)75~77頁。
- 3) 同統計は『国勢調査』実施年にあわせ、1970年度から5年毎に作成されている。な お、1980年度分までは、『職業・産業別人口動態統計』という名称であったが、1985 年度分から『人口動態統計職業・産業別統計』と名称が変わった。
- 4) 例えば, [階層Aの社会移動数] = [同階層の1980年20~24歳人口] [同階層の1975年15~19歳人口] + [同階層同コーホートにおける1975年~80年の間の累積死亡数] となる。
- 5) 詳しくは、岩井浩編『労働力・階級構成と雇用構造-低成長下における労働者状態 の統計指標-』(関西大学経済・政治研究所、1988年)82頁以下を参照。
- 6) 詳しくは、岩井、前提書、45頁以下を参照。
- 7)日本生産性本部労働協議制常任委員会『経済構造調整下の労使関係―昭和63年度版 労使関係白書―』(日本生産性本部,1988年)115~129頁。
- 8) 同上, 144~145頁。
- 9) 藤岡光夫「経済の構造変化と階層変動―生産的労働者層の構造変化をめぐって―」 『北海学園大学経済論集』第36巻3号(1989年)。
- 10) 岩井浩, 前掲書, 58~59頁および通産省『我が国情報処理の現状―昭和61年度情報 処理実態調査―』(1987年), 通産省『特定サービス産業実態調査報告』(1986年)参照。
- 11) 岩井浩, 前掲書, 104頁以下参照。
- 12) 伍賀一道『現代資本主義と不安定就業』(御茶の水書房, 1988年) 137~144頁参照。
- 13) 日本生産性本部, 前掲書, 133頁。
- 14) 篠塚英子『日本の雇用調整―オイル・ショック以降の労働市場―』(東洋経済新報 社,1989年)153頁。
- 15) 伍賀一道, 前掲書, 265頁。
- 16) 伍賀一道, 前掲書, 174頁。
- 17) 経済企画庁調査局『構造調整の進展する地域経済』(大蔵省印刷局, 1988年) 109~ 123頁参照。
- 18) 日本生産性本部, 前掲書, 127~136頁参照。